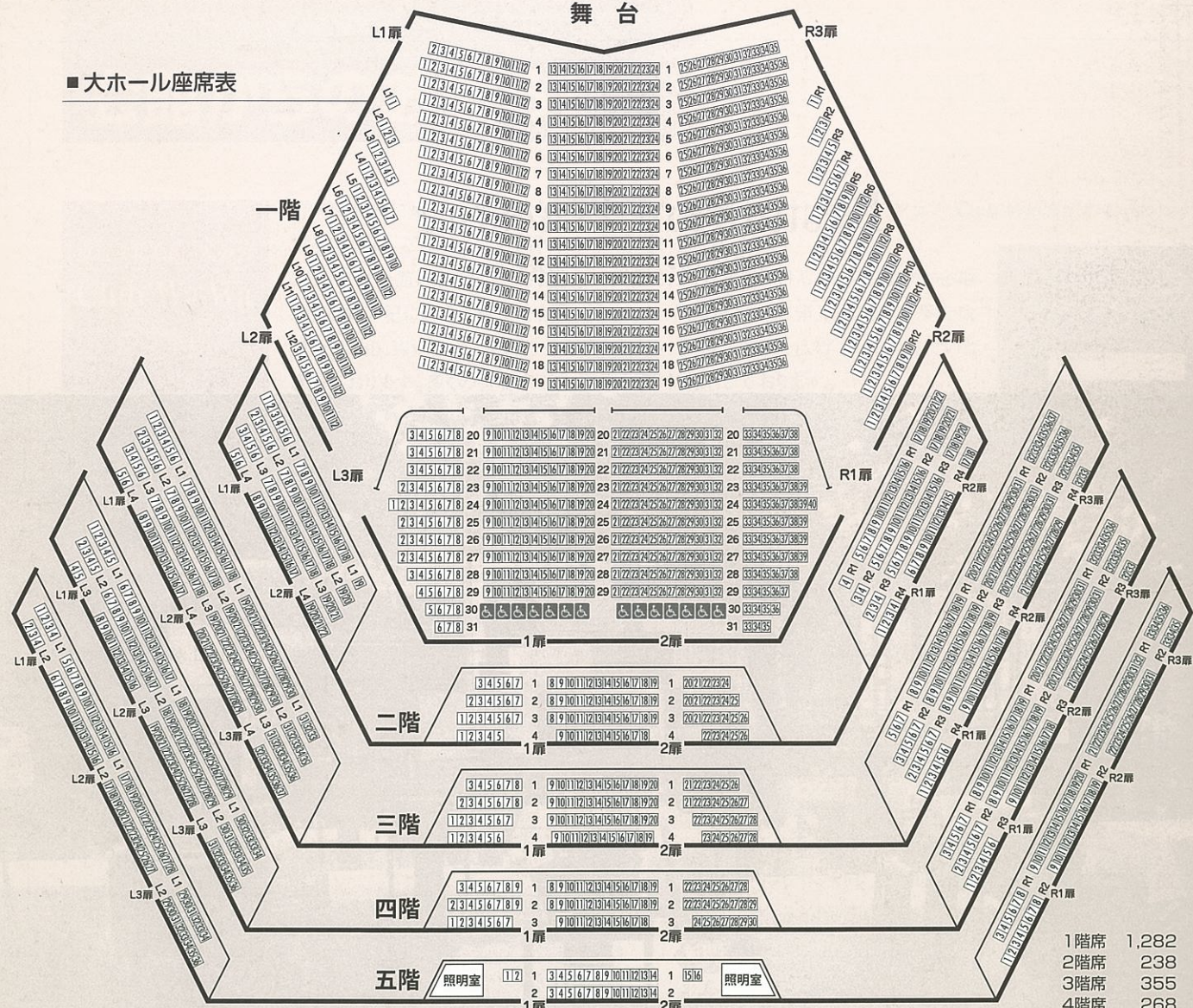
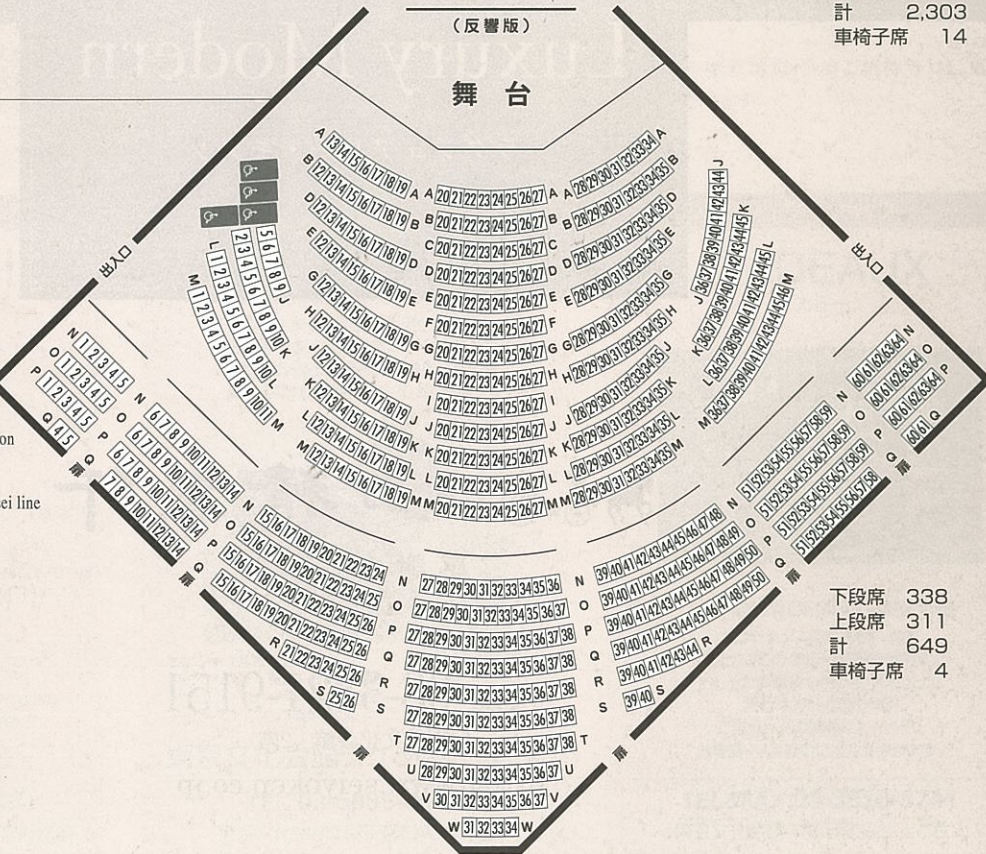


■大ホール座席表



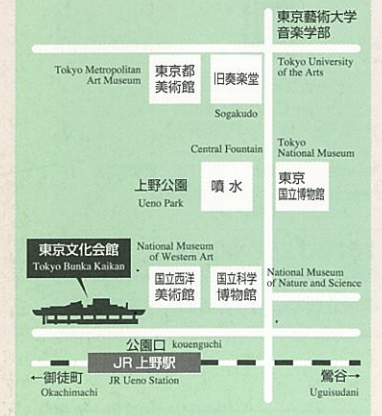
1階席	1,282
2階席	238
3階席	355
4階席	268
5階席	160
計	2,303
車椅子席	14

■小ホール座席表



下段席	338
上段席	311
計	649
車椅子席	4

●JR線 「上野駅」公園口徒歩1分
 ●東京メトロ 銀座線・日比谷線「上野駅」徒歩5分
 ●京成線 「京成上野駅」徒歩7分
 Located across from the Koenguchi exit of JR Ueno Station
 Five minutes' walk from Ueno Station of
 the Ginza and Hibiya subway line
 Seven minutes' walk from Keiseiueno Station of the Keisei line



*当館には駐車場はございません。また、ホールにはエレベーター、エスカレーターはございません。あらかじめご了承ください。

音脈 Vol.48 2012.AUTUMN

平成24年9月31日発行(年4回発行) 発行・編集 公益財団法人東京歴史文化財団 東京文化会館
 〒110-8716 東京都台東区上野公園5-45
 03-3828-2111(代)
<http://www.tunkai.jp/>

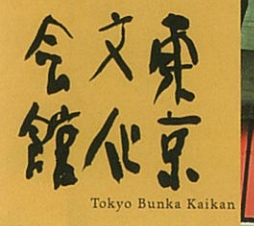
デザイン JTB印刷株式会社
 印刷・製本 光村印刷株式会社



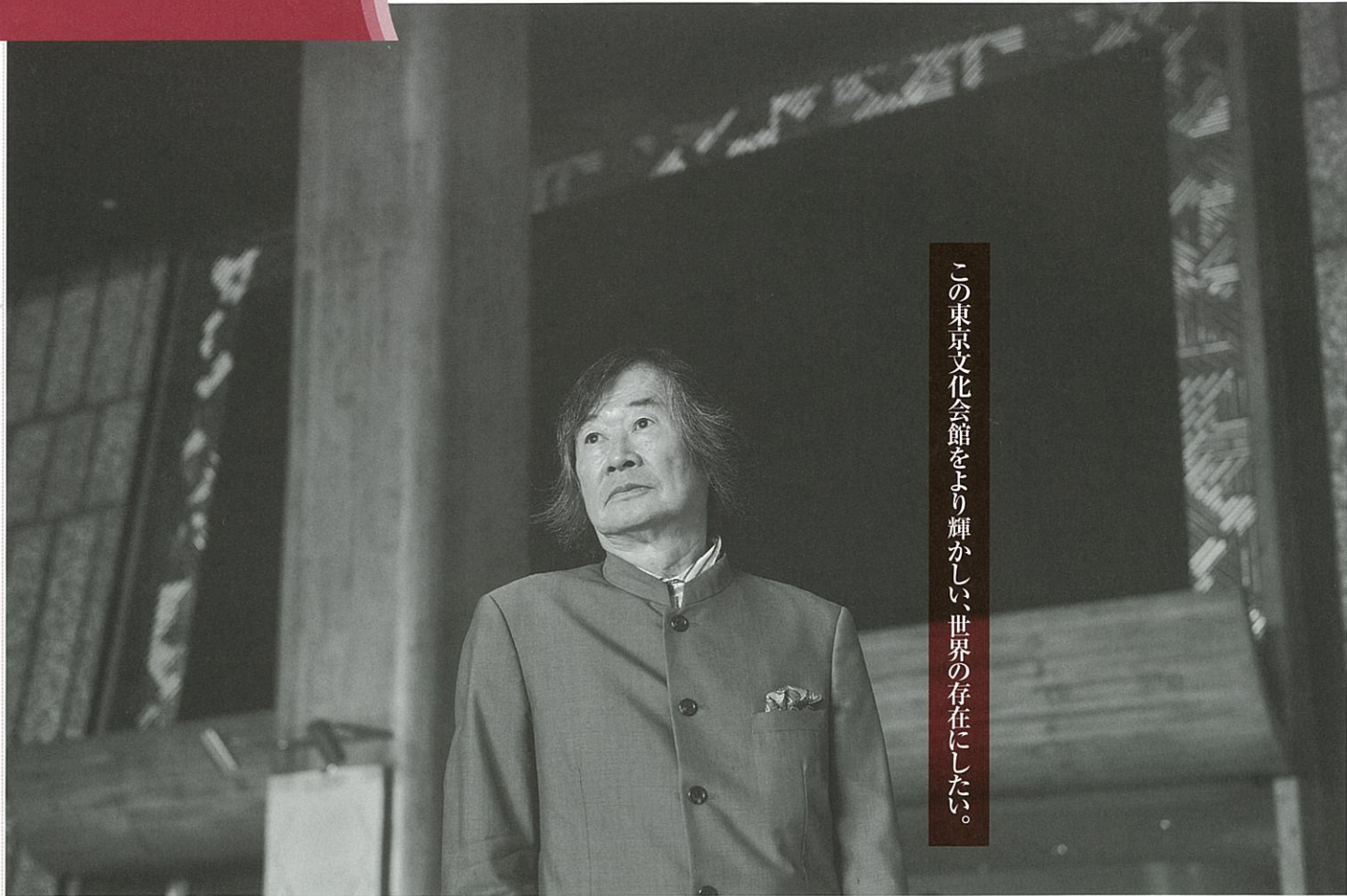
音脈 ONMYAKU

公演情報 2012. 10-12

- インタビュー
- ①東京文化会館音楽監督 小林研一郎2
 - ②東京文化会館舞台芸術創造事業 「日本舞踊×オーケストラー伝統の競演」 花柳壽輔×井上八千代4
 - ③Music Weeks in TOKYO 2012 スーパー・コーラス・トーキョー特別公演 エリアフ・インバル7
 - 東京文化会館主催公演のご案内9
 - 木之下晃のレンズは語る13
 - 公演情報(10-12月)14
 - 音楽資料室より20
 - 都響ニュース Vol.2521
 - 会館からのお知らせ22



小林研一郎(東京文化会館音楽監督)

聞き手: 山口眞子
写真: 青柳 聡

この東京文化会館をより輝かしい、世界の存在にしたい。

日本を代表する指揮者の一人小林研一郎さん。彼は「炎のコパケン」の愛称のもと、音楽仲間にも、聴衆にも慕われる、名実共に日本の音楽界を牽引する第一人者だ。そんな小林さんが、満を持して東京文化会館の音楽監督に就任した(平成24年7月1日付)。その抱負などを伺ったのは、小林さんが音楽監督として初めて東京文化会館に登壇し、会館全体が高揚感に包まれた、そんな日だった。新音楽監督として職員達の前に立ち、東京文化会館に仲間入りしたことを実感した小林さん自身も、気分が上気しているよう。「職員一人一人のオーラを感じ、そこに私達と一緒にやっという声が聞こえた」と、晴れやかに語るのだ。

そんな小林さんは東京藝術大学作曲科に4年、指揮科に4年、さらにその間にも2年ほど先生方に教えを請い、通算10年も「上野の森」に通った。彼が学生として上野で学んでいたその間の1961年に東京文化会館がオープン。彼は会館の建ち上がる過程をつぶさに目撃したことになる。それだけにこの音楽の殿堂への思いはひとしおだ。多くの音楽愛好家がそうであるように、彼もまた東京文化会館に通い詰め、そこは数多の思い出と共に、「深い愛着のある心の拠り所」となった。中でも忘れぬ3つの思い出があるという。

一つ目はチケットを求めて、3日間も並んだことだ。今では伝説と化したイタリア歌劇団公演。マリオ・デル・モナコやレ

ナータ・テバルディ、ジュリエッタ・シミアナートなど世界の超一流が東京文化会館にやってくるとあって皆が必死。上野のはるか向こうまでチケットを買う長い列ができたという。小林さんも仲間と将棋をしながら、少しでも安いチケットを手に入れようと、徹夜で並んだ。その甲斐あって、彼は安くて音響の良い最上階の5階で聴くことができた。

こうして、往年の名歌手たちの競演を目の当たりにした彼は思った。「世の中にこんな驚きがあったのか。声でこれほど人々を魅了できるのに、なんで私は作曲や指揮をしようとしているのか」。東京文化会館の周囲で野宿したことからはまった体験は、彼に「声楽家になりたい」と思わせるほどのものだった。実際に彼は、ヴァイオリン、チェロ、オーボエ、クラリネット、ギターなどの他に声楽も勉強した。しかし、自らの声は思い描いたものと違ったようだ。「でも」と彼は続ける。「声楽の勉強は、今の私の基盤を作った」と。練習時、オーケストラが大音量で演奏している最中に、それを止め、指示を与えなくてはならないのは一種の苦痛である。ところが、声楽を勉強したことで、彼の声は大きく伸びやかになり、オーケストラが強い音で鳴っていても、オーケストラへの願いが全ての人に聴こえる。「練習がスムーズになり、声は武器になった」と言うのだ。「人々に行き渡る声」は指揮者にはもちろん、音楽監督にも大切なツールに違いない。

●音楽監督就任によせて

この度、小林研一郎氏を音楽監督に迎えることになりました。「炎のマエストロ」の異名に象徴されるように、氏の音楽に対する姿勢は情熱的かつ真摯なものであり、音楽を通じて社会に貢献したいという強い思いには大いなる感銘を受けます。

素晴らしい音楽監督をお迎えし、ともに力を合わせて、東京文化会館の新たなステージを切り拓き、舞台芸術のさらなる発展を支えていきたいと願っています。

東京文化会館館長 日枝 久

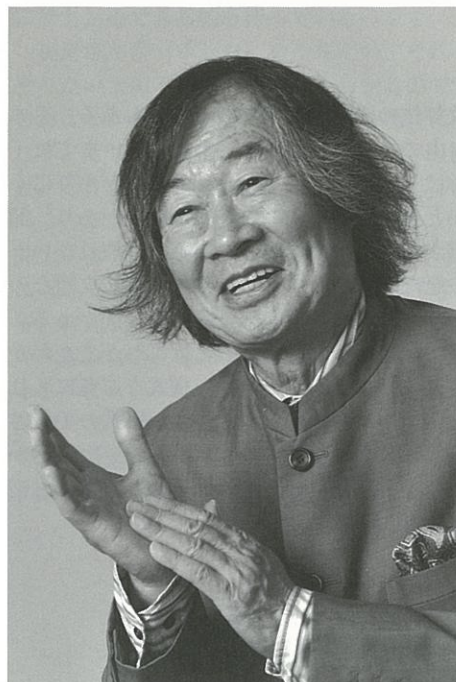


二つ目の思い出も、「炎のコパケン」の青春そのものだ。1966年、東京文化会館でのカラヤンとベルリン・フィルの、やはり伝説となった公演。彼はリハーサルを5階からそとと盗み見していた。カラヤンの細かい指示をもっと間近で見たくなった。指揮科の学生として当然だろう。小林さんの言葉が熱を帯びる。「ステージから流れ溢れる豊饒な響き。壮麗な音。その響きが胸を打った。ドイツ人の係に見つからないよう、素早く降りて行く。罪悪感はなかった。一階の黒い幕に小さなほつれをみつけ、指を突っ込みこじ開けて穴から覗く。するとそこにカラヤンがいた。高い椅子に座り、腕を組んでいた。棒は振らない。10分程して止める。何か言う。あの独特な声、ドイツ語の響き。そして、最初の音だけを振りおろす。オーケストラがそれに応える。ベートーヴェンの交響曲第4番。」我を忘れて感動するコパケン。残念ながら彼はドイツ人の大男にみつけられ、背後から首根っこを掴まれて外に放り出されてしまった。武勇伝は続く。ベートーヴェンの第9番のリハーサルでは合唱団に混ざり、「歌わずに観察」した。「ハイネックに身を包んだカラヤンが、会場に入ってくる。するとなぜか僕を睨んだ。ばれたかと思ひ怖かった」と、嬉々として語る。

もちろん公演も聴いたが、そこに到達するまでの指揮者とオーケストラの秘密を知りたかったのだ。「もっとも神秘的な部分ではないか」と。かくして東京文化会館とカラヤンは鮮明な記憶となって、強く結びついた。

世界の指揮者を目指す小林青年ならではの勇ましい思い出だが、その頃から憧れのカラヤンやバーンスタインには絶対近づきたいと思っていた。こうして1974年第一回ブダペスト国際指揮者コンクールで優勝を果たす。同時に当時の西ドイツで指揮することになった。その折、カラヤンが「おめでとう」を言い、にわざわざ訪ねてくれたという。小林さんは東京文化会館での出来事を伝えたかったが、何も話せなかった。極度の緊張のため固まっていた。

さて、3つ目の思い出。それは東京文化会館の舞台から落ち



たことだ。演奏後、「ソリストやオーケストラのメンバーを衆目の中心に」と自らが後ずさりした結果だ。しばらく体に変調を来たしたが、演奏者に最大限の敬意を払う小林さんならではの「事件」だ。そんな奏者への心配りの理由を、先日パリで指揮した折に訪ねたというモネの庭園を例に挙げ、力説する。

「モネは自ら造園して手入れをし、花が咲くと筆を走らせた。そうして納得のいくまで描き続けた。演奏家も全く同じ。紡ぎ出す音が自分の精神にマッチするまで音を探る努力を続ける。そうやって獲得した音に喜びを見出し、生きた証としての音楽を聴かせてくれる」。オーケストラは天才の集団、そんな奏者こそ主役ではないかと言うのだ。だから「どうぞあなた方こそたくさん聴衆の拍手を浴びてください」。この姿勢は、彼の基本精神となった。それは「指揮者生活を始めた時から変わっていません」と断言する。

そんな小林さんも、今年、指揮者デビュー40周年を迎えた。その記念すべき年に東京文化会館音楽監督に就任したことになる。「これは今までやってきたことへのご褒美ではないか」。感慨深げだ。だからこそ「この東京文化会館をより輝かしい、世界の存在にしたい」。それには東京文化会館の職員や出演者、聴衆、みんなが膝を突き合わせて、自由に話し合える環境を作りたいと言う。もちろんそこへの石原都知事参加の要望も忘れていない。

主催する東京音楽コンクールに対しても、「素晴らしい催しだからこそ、年齢制限をもっと上げてもいい」。苦労を重ねた人達も抱え上げたいからだ。「私自身、国際コンクールにぎりぎりの年齢で参加し優勝できた。あの時、参加できなかったら、今の私はなく、この東京文化会館音楽監督にも決まっていなかった」。海外のネットワークを生かし、審査員を招聘したい。地の利を生かし、周囲の美術館や博物館とのコラボレーションも。響きの良い4、5階を学生らに開放し、より多くの人に音楽を楽しんでもらいたい。プランが湧き出る。

実はインタビュー中に地震があった。「大丈夫。私がいまから」と周囲の空気を和らげながら、安心させた。心強い音楽監督の誕生である。「芸術の司令塔」としてのこれからの東京文化会館に、誰もが期待しないではいられないだろう。

●プロフィール

小林研一郎

1940年4月9日生まれ。東京藝術大学作曲、指揮両科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞受賞。欧州のオーケストラ併せて多くの音楽祭を多数指揮。ハンガリー国立響音楽総監督・日本フィル音楽監督など数々のオーケストラポジションを歴任。リスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、民間人最高位の「星付中十字勲章」、ハンガリー文化大使、2011年文化庁長官表彰。CDは、オクタヴィア・レコードから多数発売。著書に「指揮者のひとりごと」。1999年には管弦楽曲「パッサカリヤ」を作曲。同年オランダで初演。聴衆より熱狂的なスタンディング・オベーションを受ける。2002年にはブラハの春音楽祭オープニングを東洋人として初めて指揮。現在、ハンガリー国立フィル、日本フィル、名古屋フィルの桂冠指揮者、読売日本交響楽団特別客演、九州交響楽団首席客演、東京藝術大学、東京音楽大学、リスト音楽院名誉教授。

インタビュー②

東京文化会館舞台芸術創造事業 日本舞踊×オーケストラ — 伝統の競演 —

花柳壽輔 (演出・振付・出演) × 井上八千代 (振付・出演)

（日本舞踊と音楽とが）一体となった作品を提供するというのが、わたくしの今度の狙いでございます。（花柳）

劇場いっばいの空気感がつくれたらと思っております。（井上）



東京文化会館にとってはあまりに親しいバレエの演目、それにくわえて伝統芸能の錚々たる方々の名前…。12月7日に開催される「日本舞踊×オーケストラ — 伝統の競演 —」のポスター／チラシにつらなる名に目を惹きつけられつつも、さて、はたしてどのような舞台が創出されるのだろうかと思われる方もおられるのではないだろうか。本公演の記者発表会のおこなわれた日、お二人の舞踊家にご指南、見所、楽しみどころをうかがう機会をいただいた。

聞き手：小沼純一
写真：青柳 聡

——普段から日本舞踊に親しんでいらっしゃる方々には、今回の公演をどのようにみたらいいかわからないところがあるのでは、と思います。まず鑑賞のポイントとでも言いますか、こういうところをみてほしいといったところをお教えいただけますか。

花柳 日本舞踊には古典とは別に創作舞踊というものがあります。時代に合った新しい日本舞踊を創造するというものですが、坪内逍遙から始まり、大正時代には新舞踊運動というのがありました。戦後にもその精神を受け継いだ方々がいらっしゃった。基本としては古典がありますけれども、自分のヴォキャブラリーといいますか、新しい表現の仕方をつくってゆくのです。バレエやモダン・ダンスあるいは舞踏の影響を受けられた

方がおられ、能や歌舞伎の影響を受けていることもある。日本舞踊は、まったく自由で、とても幅が広いんでございますね。古典の日本舞踊をはじめご覧になると、最初はわかりにくいと感じられるのかと思います。日本の音楽は歌詞があり、節がついている。歌詞がなかなか聞き取れないし読み取れない。最近は字幕スーパーをだしていることもありますが、文語なのでこれも簡単にはわかりません。こうした素朴な疑問がある。またストーリーを追おうとするといまの方にはこれがまたわかりません。今回の公演は、日本舞踊のいろんな様式をご覧に入れますので、「わかって」となさる前に、ひとつの様式の美しさをご覧になったら如何でしょうか。今回は耳から、次に目から、そして踊りにというふうに、それぞれの方がご自由にお楽しみいただきたいのです。

井上 すこし具体的にお話しをさせていただきますと、まず『レ・シルフィード』は、女性群舞でございますね。こちら、客席の上の方からご覧になると想像していただきますと、着物の裾のながれといったものがとても活きるかと思えます。『ロミオとジュリエット』では、若君と若姫と二人で、群舞とはまた違った美しさがでてまいります。色合いが全然違ってまいります。こういうものをご覧いただくということは、東京文化会館のお客様である方々が日本舞踊と新たな出逢いができるとてもいい機会です。いろんなかたちの日本舞踊があるということを知っていただきたいし、これをきっかけに別の場所でもご覧いただければいいと思っております。

花柳 日本舞踊がオーケストラと一緒にやるということのはじめてのこと、珍しいことではありません。かつてもあったのです。それでも、今回のように本格的にバレエ音楽と向き合うこととなりますと、日本舞踊とオーケストラが一緒であることの違和感がないようにしなくてはと思っております。もちろん基本の型はあります。でもアバウトなところもある。しかし音に対する感性は人それぞれ違います。今度も、群舞ではそうはいきませんが、ある程度自分の感性で音をつなげてゆくというやり方になりますか。何よりも、（日本舞踊と音楽とが）一体となった作品を提供するというのが、わたくしの今度の考え、というか、狙いでございます。

——演目にあるものは、ほとんど誰もが知っているストーリーだというのは、アプローチしやすいし、魅力的なところでしょうか。

花柳 日本舞踊は、古典ですと能や歌舞伎という先行芸能からきております。歌舞伎の通し狂言の一部とか、能の一部とかだと、どうしてもわかりにくい。その点、西洋のものは、誤解を招きそうな言い方になりますが、ストーリーはシンプルと言いますかね（笑）。そして、わかりやすいという点では利点でもあるわけです。

——今回は、狂言の野村萬斎さんが日本舞踊の方々の群舞とともに『ボレロ』を舞われます。日本舞踊とオーケストラという組み合わせのみならず、伝統芸能のなかでも、異なったものが一緒になっている試みにみえますけれども。

花柳 狂言と日本舞踊、それぞれに異なっておりますが、日本の芸能はもともとはひとつなのです。狂言は完成されたかたちがあり、日本舞踊はそれに較べればとても自由、それだけ完成されていないといえそうなのですが、その分、どのようにも対応できる幅を持っているのです。

萬斎さんが『ボレロ』をやりたい、それも日本舞踊の群舞とやりたいと仰るのはとてもよくわかるのです。狂言と日本舞踊の対比というのもございます。ある場合は融合し、つかずはなれず、そして最終的には狂言の持つ凄さ、面白さがだせれば、と。そういうところで私たちがお役にたてればいいなと思っておりますね。

井上 壽輔先生、『ボレロ』の場合には、「所作板」*1をお使いになると仰っておられました。『ボレロ』には狂言の『三番叟』に通じるものがあると、萬斎さんも仰っておられて。こういう組み合わせをお考えになるのは、先生ならではのいらっしゃるか、と。

花柳 ほかの舞台は床にリノリウム*2を使いますが、『ボレロ』では能舞台くらいの所作舞台をつくりたい。やはり狂言ですから、「踏む」、音が必要になりますね。

——ほかにはどのような工夫をお考えでしょう。

花柳 『ペトルーシュカ』のヒントというのはニジンスキーですけれども、文楽の「人形振り」*3に接点を感じまして、これを主体にしたものをお考えしました。すべて人形振りでおすのは無理ですけれども、これを採用してみることにいたしました。

ストラヴィンスキーもそうですし、振付をしたフォーキンも、東洋に対する憧れのようなものがあったのではないかと、十九世紀末から二十世紀はじめに日本の文化がヨーロッパにはいついて、どこか触発される場所もあったのではないかと想像したりいたします。

——印象派の絵画もそうですし、川上音二郎、川上貞奴がヨーロッパで公演をおこなっているというのも、直接ではないにしても、影響があったのかもしれないね。

花柳 『牧神の午後』では映像を使いますし、金子國義さん、千住博さんといった美術家の方々のご協力をお願いしております。

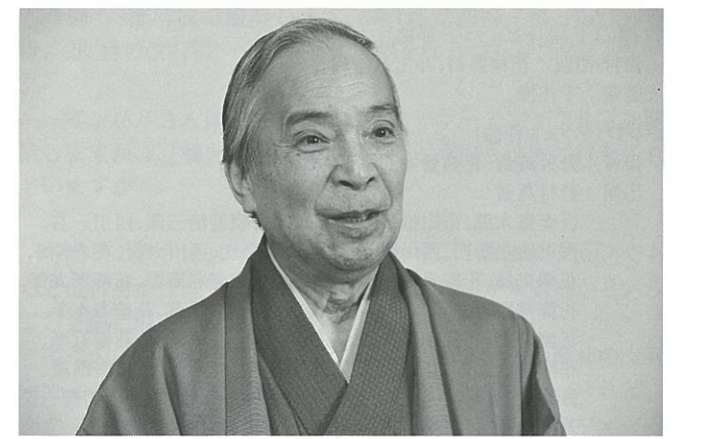
——オーケストラの生演奏とともに踊られるというのは、たとえば背後や脇に三味線があってというのとかなり違った感覚になるかと思えます。

井上 その音のなかにはいついて、カウントをするのではなく、どういうふうな音を感じてやっていくのか、まったく未知の世界ですので、楽しみに思っておりますね。

花柳 余談になりますけれども、まだわたくしがほんとに若い頃、初代の五條流家元の五條珠實さんがオーケストラで舞われたのです。まだテープがない時代でしてね。五條さんは三味線の「口三味線」とおなじように、「口オーケストラ」で練習をなさる。全部おぼえられて、歌われるんです。楽譜をご覧になり、ご自分でピアノもお弾きになってね。そういう時代もございました。わたくしが『春の祭典』をやったときにも、毎晩テープを聴いて、おぼえたものでしたけれども。

——東京文化会館で日本舞踊を、ということについて一言お願いいたします。

井上 はじめてのことで、緊張もいたしますけれども、多くの先人が伝説をつくられた舞台を踏ませていただくのは光栄です。ただ、とても（天井・客席が）高うございます。わたくしは小そうございますので、上からみられるのは苦手ですけれども、そこも考慮していただけての振りになりますか、と。劇場いっばいの空気感がつくれたらと思っております。力及ばず





—お話をうかがってますます十二月が楽しみになってまいりました。お忙しいところ、どうもありがとうございました。

- *1 日本舞踊や歌舞伎の舞台で使われる檜で作られた台。足のすべりを良くし、また古典舞踊には欠かせない足拍子の響きを生み出す。
- *2 ダンスやバレエに使用される床材の一種。
- *3 文楽人形の動きを取り入れた振付。生身の人間が人形のぎくしゃくした動きを模倣することによって、役の心情を際立たせる効果がある。

●プロフィール

はなやぎしずこ
花柳壽輔

花柳流四世家元。平成19年に四世家元壽輔を襲名。二十代で日本舞踊界に登場以降、日本舞踊家としてはもちろん「東宝歌舞伎」などで俳優としても活躍。宝塚歌劇団や商業演劇での振付作品も数え切れない。本公演では演出と構成も担当、傘寿を超えた現在も新しい試みに対する意欲は増すばかりである。流派を超えて後進の指導的立場にあり、名実ともに日本舞踊界を代表する舞踊家である。

日本芸術院会員。東京芸術文化評議会評議員。

いのうえちよ
井上八千代

京舞井上流五世家元。祖母である四世家元に師事、平成12年に五世家元として井上八千代を襲名。端正な品格と柔らかな味わいにあふれた舞姿は独自の境地のもので、全国にファンが多い。祇園甲部の「都をどり」の振付指導にもあたる、日本の伝統文化を象徴する一人である。

日本芸術院賞受賞。

とは思いますが。花柳 井上先生は舞ですし、もともと小さな空間のなかで舞うということのできたものですから、こうした大きいところでは、隔々までお客さんがはられるので大変だと思います。かといってオーヴァーにやるということにはなりません。わたくしのほうは、目の前にオーケストラ・ピットがあるというのが気になる。指揮者がいて、オーケストラのメンバーの方々が動いていますから、慣れるまで気になってしまいます。しかし、そういうことも含んで楽しんでいただくということ(笑)。

東京文化会館舞台芸術創造事業 日本舞踊×オーケストラ — 伝統の競演 —

12月7日(金) 19:00開演(18:15開場) 会場：東京文化会館大ホール

衝撃の出逢い！オーケストラで舞う日本舞踊。

演目・振付及び出演：

レ・シルフィード(ショパン作曲)

振付：藤蔭静枝
出演：吾妻徳彌
五條絢巳、五條詠佳、五條珠雀、西川中晶、花柳和あやき、花柳秀衛、花柳ツル、花柳美輝風、坂東里子、坂東はつ花、坂東幸奈、藤蔭静寿、藤蔭美湖、藤蔭里燕、藤間藤花、藤間蘭翔、水木扇升、若柳薫子、若柳恵華、若柳美香康

ロミオとジュリエット(プロコフィエフ作曲)

振付：坂東勝友
出演：花柳典幸(ロミオ)、尾上紫(ジュリエット)
美術：朝倉撰

パトルーシュカ(ストラヴィンスキー作曲)

振付：五條珠實
出演：若柳里次朗(パトルーシュカ)、花柳寿太郎(ムアア人)、花柳大日翠(パレリーナ)、花柳輔蔵(人形遣い)
美術：金子國義

牧神の午後(ドビュッシー作曲)

振付・出演：花柳壽輔、井上八千代
美術：千住博

ボレロ(ラヴェル作曲)

振付：野村萬斎、花柳輔太郎、花柳壽輔
出演：野村萬斎
吾妻豊太郎、市山松扇、五條珠太郎、猿若清三郎、西川一右、西川扇左衛門、西川扇重郎、西川扇衛仁、西川大樹、花ノ本海、花柳克昂、花柳貴柏、花柳九州光、花柳恵右衛門、花柳源九郎、花柳琴臣、花柳寿志利、花柳寿宣典、花柳輔蔵、花柳寿々彦、花柳寿美蔵、花柳静久郎、花柳琢次郎、花柳達真、花柳近彦、花柳登貴太郎、花柳昌克、花柳昌鳳生、花柳楽人、藤間勘護、藤間仁風、藤間達也、藤間彦彦、藤間直三、松風光陽、若柳吉央、若柳吉優人、若柳吉優亮、若柳三十郎、若柳美世英



花柳壽輔 井上八千代 野村萬斎 大井剛史

演出：花柳壽輔
指揮：大井剛史
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団
照明：沢田祐二
舞台監督：菅原多敢弘

料金	S:A席予定枚数終了	B:C:D席僅少
S席12,000円	A席10,000円	B席8,000円 C席5,000円 D席3,000円
東京文化会館友の会会員		
S席11,000円	A席9,000円	B席7,200円 C席4,500円
ハンディキャップ		
S席9,600円	A席8,000円	B席6,400円 C席4,000円
学生(25歳以下)		
S席8,400円	A席7,000円	B席5,600円 C席3,500円

企画協力 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、公益社団法人日本舞踊協会



Interview 3

インタビュー③

東京文化発信プロジェクト
Music Weeks in TOKYO 2012
スーパー・コーラス・トーキョー特別公演
エリアフ・インバル(指揮)

聞き手：佐伯茂樹

世界的な合唱指揮者ロベルト・ガッピアーニの指導により研鑽を積んだプロ合唱団「スーパー・コーラス・トーキョー」が、東京都交響楽団と同団プリンシパル・コンダクターのエリアフ・インバルとの共演により、マーラー初期の傑作「嘆きの歌」を演奏する。

初来日から約40年、日本でも数多くのマーラー作品を取り上げているインバルだが、「嘆きの歌」を日本で指揮するのは今回が初めてとなる。この曲の演奏を熱望していたインバルにこの公演への想いを聞いた。

—「嘆きの歌」はマーラーの作品の中でどういう位置付けで捉えたいですか？

マーラーは、学生時代にこの曲を書きました。そして、何度もこの曲を提出して、なんとか自分の能力を認めてもらおうとしたのですが、その都度、却下されてしまいます。認めてもらうために楽譜の改訂をし、1901年に自身の手で初演をしたけれど、残念ながらこれも評判が悪く失敗に終わっています。

しかし、マーラーは、この曲のことを諦めず、何度も取り組み専念してきました。指揮者として名前が知られるようになり、有名な曲を作曲していたにもかかわらず、それでも尚この曲に取り組んできたということは、この曲が彼にとってどれだけ重要な存在であったかという証しだと思います。

私自身、「嘆きの歌」は本当に素晴らしい作品だと思っています。マーラーの交響曲には、彼の悩みや人生など主観的なものが反映されていますが、それに比べて、この曲はメルヘンタッチな雰囲気支配の作品だと言えます。

マーラーの交響曲、特に第1番から第5番、そして第9番は、彼の人生そのものだと思う。彼の苦悩や希望、理想の追求、さまざまな宗教を求めたり、違う人生を求めるなど、そういうものがすべて彼の交響曲から感じ取ることができます。

「嘆きの歌」は、若きマーラーが作り上げた最初期の管弦楽作品であり、題材になっているのはメルヘンタッチのもですが、さまざまなオーケストラの楽器や声楽を使って、素晴らしい雰囲気に仕上げている。若い作曲家がつくった作品としては、本当に天才的な作品だと言えます。

—スコアを見ると、初稿ではかなり斬新なオーケストレーションをしていることがわかります。

本当に斬新でオリジナリティに溢れています。この作品のスコアを見るだけで、彼の天才性が理解できます。しかし、彼の周囲にいた権威のある人々はそのことが理解できなかった。それまでの他の作曲家たちの作品とはまったく違う、とても斬新で勇敢な曲だったので、当時の人々は聴き慣れたスタイルの作品を望んだのかもしれませんが。だからこの作品が正当な評価を得ることができなかったのでしょう。

—このあと、2回改訂していますけど、それはやはり評価が芳しくなかったからだとお考えですか？

却下されたわけですからね。楽器を多く使い過ぎたとかソリストが多過ぎたのではないかと、減らしたのかもしれませんが。その方が、実際に上演しやすいと判断したのでしょう。どうして自分のこの作品が却下されたのか彼は悩んだに違い



ありません。そこで、できるだけ楽器用法を修正しようとしたのではないのでしょうか。

しかし、その理由は、ただ編成が大き過ぎるというものだけではなく、彼の書いた音楽の言語そのものがとても斬新だったというのものではないかと思っています。それは新しいものをもたらす人の運命なのかもしれません。どんな時代でも、新しいものを創造することは、理解されなかったり受け入れられないのが常だと言っているように。

—改訂時に第1部がカットされてしまったのも妥協だったとお考えですか？

それは本当に残念だと思いました。私は、これまで何度かこの作品を指揮しましたが、そのときは必ず第1部も含めた3部構成で演奏しました。

—今回はどの版で演奏する予定ですか？

今回も3部構成で演奏します。第1部は初稿、第2部と第3部は、2度目の改訂稿、すなわち最終稿を使うつもりです。

—インバルさんは、都響と新たなマーラー・ツィクルスを開始しますが、「嘆きの歌」はその中でどういう位置付けをされていますか？

「嘆きの歌」は、マーラーの世界のイントロダクションであると感じ取ることができる作品。これから何が来るのかということを感じ取ることができる作品。

多くの作曲家の場合、たとえば、ブルックナーの最初の交響曲である第00番は、まだブルックナーの音楽ではないけれど、何かブルックナーらしさが感じられますし、ベートーヴェンの

交響曲第1番も、まだ古典派の作風ですけど、スケルツォなど、これから来るものを予感させます。「嘆きの歌」も同じことが言えるでしょう。とてもロマンティックな世界を彼は作り上げました。信じ難いほどの鮮やかな色調を使って素晴らしい世界を。私たちに、このあと来るものの姿を見せてくれていると思います。

——記録によると、インバルさんが東京文化会館に初めて登場したのは、1973年の読売日本交響楽団の演奏会でした。マーラーの交響曲第5番を指揮されています。このときのことを覚えていらっしゃいますか？

ええ。よく覚えていますよ。リハーサルがどんなだったかまで。

この時代は、まだオーケストラの団員にマーラーの体験がほとんどなかったので、3日間のリハーサルを通してマーラーのスタイルを教え込まなければいけませんでした。何人かのベテラン奏者の方たちは、かなり軽めに演奏していましたが、マーラーの場合にはもっと深く、時にはアグレッシヴに演奏しなければいけません。本当にたくさんリハーサルをしましたよ。大汗をかきながら(笑)。でも、最終的には本当に良い演奏会になったと思います。

とにかく、私が努力したのは、マーラーのスタイルを伝えることでした。みなさんに体得していただくのにすごく時間をかけたことは忘れません。今は、都響を指揮していますが、現在の都響は、マーラーのスタイルを実体験として取り入れているので、とても楽にリハーサルをすることができます。

——都響とは1991年に東京文化会館でマーラーの「復活」をやっていますが、これが都響と最初のコンサートですね。

それが最初ですか。ということは、もう21年以上都響と一緒に演奏しているわけですね。

——東京文化会館についてのご感想をお聞かせください。

本当に素晴らしいホールだと思います。1973年に初めて指揮したときには驚きました。東京ではベストのホールですね。東京には、その他にも、サントリーホール、東京芸術劇場、東京オペラシティなど素晴らしいホールはたくさんあります。日本

全国にも良いホールはたくさんあり、このような音楽ホールをつくることのできる日本の文化に敬意を表します。

ホールでいちばん大事なのは音です。形は関係ありません。そういう意味で、日本が、このようなたくさんの良いホールを作り上げたことは本当に素晴らしい。パリにもロンドンにも、東京のような良い音がするホールはたくさんありません。

——今回の公演は、東京都と東京文化会館、東京文化発信プロジェクト室の主催で行われるのですが、自治体主催してコンサートを行うことに関してインバルさんはどうお考えですか？

素晴らしいことだと思います。こういう催しはたくさん行なってほしい。将来の聴衆を育てるために、若い人たちが音楽を体験して学ぶことができるというのが重要です。ぜひこれからも続けていってほしいと思います。

——今回の「嘆きの歌」は、東京文化会館とオリンパスホール八王子の2ヶ所で公演がおこなわれますが、どういう人たちに聴いてほしいですか？

とにかく音楽を愛するお客様に聴いてほしい。それ以外のことは言えません(笑)。

やはり、新しい方に来ていただきたいですね。ふだんあまりコンサートに行かないような方にもぜひ聴いてほしい。

——これからマーラーの音楽を聴いてみようという人にもお勧めですか？

もちろんです。特に、この「嘆きの歌」の場合は、マーラーを聴き始める良いきっかけになると思います。とてもロマンティックで、魔法のような世界ですから、初めてマーラーの音楽を聴く人も楽しむことができます。

「嘆きの歌」という悲劇的なタイトルがついていますが、マーラーはただ悲劇として描いたわけではありません。この頃から人生をグローバルに見ていたのです。音楽というのは、マーラーの人生そのものだったのです。残念ながら、人生というのは、常に美しいものだけではなく、嘆きもあり悲しみもあるわけです。若いマーラーが、すでにそういうものを感じていて、それを曲で表したのでしょう。彼は、弟が亡くなるなど、若いときから悲劇に向かい合っていたのです。

東京文化会館 主催公演

東京文化発信プロジェクト Music Weeks in TOKYO 2012 スーパー・コーラス・トーキョー特別公演

1 10月3日(水) 19:00開演 会場：東京文化会館大ホール

2 10月4日(木) 19:00開演 会場：オリンパスホール八王子

出演▶指揮：エリアフ・インバル
 合唱指揮：ロベルト・ガッピアーニ
 ソプラノ：浜田理恵 メゾソプラノ：小山由美
 テノール：福井敬 バリトン：堀内康雄
 合唱：スーパー・コーラス・トーキョー
 管弦楽：東京都交響楽団
 曲目▶ワーグナー：ジークフリート牧歌
 マーラー：カンタータ「嘆きの歌」(全3部)

料金 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 C席2,000円 学生席1,000円
 主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 共催 公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団(オリンパスホール八王子公演)
 チケット取扱 TS 都響 全席 電子チケット



エリアフ・インバル ロベルト・ガッピアーニ 浜田理恵



小山由美 福井敬 堀内康雄

《響の森》vol.32「ニューイヤーコンサート2013」 大ホール

平成25年1月3日(木) 15:00開演(14:20開場)

出演▶指揮・ピアノ：大植英次
 ピアノ：伊藤 恵、野原みどり
 篠笛：福原友裕
 管弦楽：東京都交響楽団
 曲目▶モーツァルト：歌劇「魔笛」序曲
 ベートーヴェン：「エグモント」序曲
 モーツァルト：3台のピアノのための協奏曲
 ラヴェル：ラヴァルス
 宮城道雄：春の海
 岡野貞一：ふるさと
 外山雄三：管弦楽のためのラプソディー



大植英次 ©飯島隆

料金
 S席6,000円 A席4,000円 B席2,000円
 東京文化会館友の会会員 S席4,800円 A席3,200円
 都響会員 S席5,400円 A席3,600円
 ジュニア(18歳未満)/学生 S席3,000円(200席限定)
 シルバー(65歳以上) 5,400円
 ハンディキャップ (1~3級) S席3,000円
 (4~5級) S席4,800円(介添え1名まで同一料金)
 12/25(火)都響「第九」とのセット券 S席4,800円 A席3,200円(200組限定)
 チケット取扱 TS 都響 全席 電子チケット

プラチナ・ソフレ 現代最高の名手が奏でる極上の音楽を贅沢にお楽しみください。 小ホール

第1夜 サクソ・マジック

一人で4本のサクソフォンを吹き分ける超絶技巧はまさに「神業」。須川展也でしか成し得ない、サクソの常識を超える驚異の一夜。

9月14日(金) 19:00開演(18:30開場)

出演▶サクソフォン：須川展也
 ピアノ：小柳美奈子
 曲目▶石毛里佳：Muta in Concerto 第1楽章 Opening Baritone(Br)
 スパーク：パントマイム(T)
 長生淳：ラフォリスム(S)
 石川亮太：日本民謡による狂詩曲(A)
 チャイコフスキー：「6つの歌」より「ただ憧れを知る者だけが」op.66 (A)
 ムソルグスキー(長生淳編曲)：4本のサクソフォンのための「展覧会の絵」(S,A,T,Br)
 *S:ソプラノ・サクソ A:アルト・サクソ T:テナー・サクソ Br:バリトン・サクソ



須川展也 ©Yuji Horie

第2夜 バッハ親子とその時代

鍵盤奏者としてのみならず、バッハ解釈の第一人者としても不動の地位を確立した小林道夫が贈る「バッハ親子とその時代」。ゲストに工藤重典を迎え、バッハ家のDNAをたどるスペシャルコンサート。

11月16日(金) 19:00開演(18:30開場)

出演▶チェンバロ：小林道夫
 ゲスト：工藤重典(フルート)*
 曲目▶J.S.バッハ：協奏曲 二長調 BWV972
 J.S.バッハ：フルートとクラヴィアのたのソナタ第1番 短調 BWV1030*
 W.F.バッハ：協奏曲 長調 F.40
 C.P.E.バッハ：フルートソナタ 長調 Wq.133*
 J.C.F.バッハ：キラキラ星の主題による変奏曲 長調
 J.C.バッハ：6つのフルート・ソナタより 二長調 op.16 No.1*



小林道夫 工藤重典 ©武蔵章

第3夜 冬の一夜、シューマンとともに

メンバー全員がソロ・アンサンブル両面に精通しているという、今考え得る最高のトリオ。至極の室内楽をお楽しみください。

12月21日(金) 19:00開演(18:30開場)

出演▶ヴァイオリン：堀米ゆず子
 チェロ：山崎伸子 ピアノ：津田裕也
 曲目▶シューマン：アダージョとアレグロ 変イ長調 op.70
 子供の情景 op.15
 ヴァイオリンソナタ第2番 二短調 op.121
 ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 op.63



堀米ゆず子 ©中村治 山崎伸子 ©武蔵章 津田裕也 ©武蔵章

第4夜 無伴奏チェロの至宝

古楽器と現代楽器を世界最高水準で弾き分けることのできる現代最高のチェリスト。その魅力をチェロ独奏により余すことなくお贈りいたします。

平成25年2月22日(金) 19:00開演(18:30開場)

出演▶チェロ：ピーター・ウイスベルウエイ
 曲目▶レーガー：無伴奏チェロ組曲第2番 二短調 op.131c No.2
 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第6番 二長調 BWV1012
 レーガー：無伴奏チェロ組曲第1番 長調 op.131c No.1
 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第3番 長調 BWV1009



ピーター・ウイスベルウエイ

第5夜 ザ・ジャズ・ナイト

プラチナ・ソフレの締めくくりは、ピアニスト小曾根真によるスペシャル・ジャズ・ナイトをお贈りします。東京文化会館小ホールで聴く極上のジャズに酔いしれてはいかが？

平成25年3月8日(金) 19:00開演(18:30開場)

出演▶ピアノ：小曾根真
 曲目▶当日発表



小曾根真 ©Kiyotaka Saito

料金
 一回券 S席4,800円 A席3,800円 B席2,000円
 東京文化会館友の会 S席4,300円 A席3,400円
 ※各種割引あり
 年間セット券は終了しました。

チケット発売日
 第3夜 9月14日(金) 一般発売 / 8月31日(金) 友の会先行発売
 第4夜 11月16日(金) 一般発売 / 11月2日(金) 友の会先行発売
 第5夜 12月21日(金) 一般発売 / 12月7日(金) 友の会先行発売
 チケット取扱 TS 都響 全席 電子チケット

インタビュー 東京文化会館主催公演の案内 木之下晃のレンズは語る 公演情報(10・12月) 音楽資料室より 都響ニュース 会館からのお知らせ

モーニングコンサート 500円で楽しむ、東京音楽コンクール入賞者による朝の1時間コンサート。 **小ホール**

各日 11:00-12:00(10:30開場)

Vol. 63 10月30日(火)

出演▶ソプラノ：鷺尾麻衣 *第7回声楽部門第2位
ピアノ：穴見めぐみ
曲目▶ヘンデル：「ジュリアス・シーザー」より「麗しき瞳よ」
バーンスタイン：「キャンディード」より「着飾ってきらびやかに」他

Vol. 64 11月21日(水)

出演▶ヴァイオリン：周防亮介
*第9回弦楽部門第1位および聴衆賞
ピアノ：富岡順子
曲目▶サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 op.28
サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン op.20 他

Vol. 65 12月14日(金)

出演▶ピアノ：中村美悠子 *第8回ピアノ部門第3位
曲目▶モーツァルト：フランスの歌「ああ、お母さん聞いて」による
12の変奏曲 ハ長調(きらきら星変奏曲)K.265
シマノフスキ：変奏曲 変ロ短調 op.3 他

Vol. 66 平成25年1月10日(木)




出演▶オーボエ：篠原拓也 *第9回木管部門第2位
ピアノ：菊池広輔
曲目▶シューマン：アダージョとアレグロ 変イ長調 op.70
サン＝サーンス：オーボエソナタ 二長調 op.166 他

Vol. 67 平成25年2月5日(火)

出演▶ヴァイオリン：井上静香
*第6回弦楽部門第2位および聴衆賞
ピアノ：曾我彩子
曲目▶ブラームス：ヴァイオリンソナタ第2番 イ長調 op.100 他

Vol. 68 平成25年3月6日(水)

出演▶ピアノ：深貝理紗子 *第9回ピアノ部門第2位
曲目▶ショパン：スケルツォ第2番 変ロ短調 op.31
シューマン：謝肉祭「4つの音符による面白い情景」op.9 他

料金 全席自由500円
チケット発売日 Vol.66-68：11月21日(水)発売
協賛 上野中央通り商店会
チケット取扱   



東京文化会館オペラBOX ファンパードイニング：ヘンゼルとグレーテル(日本語歌唱) **小ホール**

初めて観る方でも楽しめるオペラ。極上の音響空間での贅沢なひとときを、ご家族皆様でお楽しみください。

10月21日(日)

14:00開演(13:30開場)

演出・訳詞▶三浦安浩
音楽統括・指揮・編曲▶杉原直基
出演▶ヘンゼル：富岡明子(メゾソプラノ)
*第1回東京音楽コンクール声楽部門第3位
グレーテル：高橋さやか(ソプラノ)
*第7回声楽部門第3位
魔女：森山京子(メゾソプラノ)
ペーター：押川浩士(バリトン)
ゲルトロド：八木寿子(メゾソプラノ)
*第9回声楽部門第1位
眠りの精：高橋華子(メゾソプラノ)
*第8回声楽部門第2位及び聴衆賞
露の精：森美代子(ソプラノ)
*第5回声楽部門第2位<最高位>及び聴衆賞
ナビゲーター：朝岡聡
児童合唱：ジンジャーブレッド合唱団
(合唱指導：田中美佳)

演奏▶ピアノ：巨瀬励起
フルート：吉岡次郎
*第3回木管部門第2位<最高位>
オーボエ：田淵哲也
ホルン：濱地宗
*第8回金管部門第2位
トランペット：松居洋輔
トロンボーン：府川雪野
*第1回金管部門第1位
打楽器：田村拓也
スタッフ▶美術：鈴木俊朗
衣裳：坂井田操
照明：稲葉直人
舞台監督：渡邊真二郎



料金 全席指定3,000円 東京文化会館友の会・シルバー(65歳以上)・学生・ハンディキャップ2,500円
主催 上野中央通り商店会/東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団) 予定枚数終了

第10回東京音楽コンクール優勝者コンサート **大ホール**




第10回東京音楽コンクールを制覇した各部門の優勝者が、ソリストとしてオーケストラと共演します。東京文化会館から羽ばたく新進アーティストの熱演に、どうぞご期待ください。

平成25年**1月14日(月・祝)**

14:00開演(13:15開場)

出演▶ピアノ・弦楽・金管・声楽部門の各優勝者 指揮▶梅田俊明
管弦楽▶東京フィルハーモニー交響楽団 司会▶朝岡聡



料金 全席指定2,000円 東京文化会館友の会・シルバー(65歳以上)・ハンディキャップ1,500円 ジュニア(18歳未満)・学生1,000円
主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、読売新聞社、花王株式会社、東京都
協賛 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社コンサートサービス、サントリーホールディングス株式会社、東京ガス株式会社、東京地下鉄株式会社、
東京文化会館ザ・イヤーパートナー 上野精養軒
協力 新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、
日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、東京オーケストラ事業協同組合 チケット取扱   

創遊・楽落らいつ 音楽家と落語家のコラボレーション —500円で楽しむ、音楽入りの落語— **小ホール**

Vol. 21 9月20日(木)

11:00-12:00(10:30開場)

出演▶落語：三遊亭遊雀
バンドネオン：早川純
ヴァイオリン：吉田篤
ピアノ：佐々木崇
*第6回東京音楽コンクールピアノ部門第3位
第1部▶ミニコンサート「ラクンバルシート」「リベルタンゴ」他
第2部▶落語と音楽のコラボレーション「強情炎」



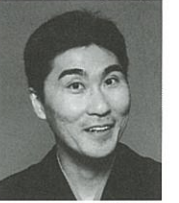
三遊亭遊雀

料金 全席自由500円 チケット発売日 Vol.22：9月20日
主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/公益社団法人落語芸術協会
共催 日本音楽家ユニオン/公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

Vol. 22 11月30日(金)

11:00-12:00(10:30開場)

出演▶落語：古今亭今輔 他
第1部▶ミニコンサート
第2部▶落語と音楽のコラボレーション
「チョココロネ政談」



古今亭今輔

チケット取扱  

東京文化発信プロジェクト Music Weeks in TOKYO 2012 **東京音楽アカデミー<マスタークラス>**

東京から世界へ羽ばたく! 未来の日本を担う音楽家を育てよう。

1 リチャード・ストルツマン(クラリネットコース)

9月15日(土) 13:00開講

会場▶東京文化会館小ホール
聴講料▶1,000円(自由席)



リチャード・ストルツマン
©Lisa Marie Mazzucco

協力 Sony Music Foundation
(公益財団法人ソニー音楽財団)

2 ジュリアーノ・カルミニョーラ(ヴァイオリンコース)

11月6日(火) 19:00開講

会場▶トッパンホール
聴講料▶1,000円(自由席)



ジュリアーノ・カルミニョーラ
©KASSKARA/DG

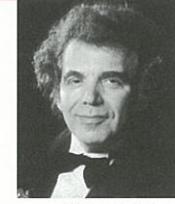
共催 トッパンホール

3 ザハール・ブロン(ヴァイオリンコース)

12月18日(火)~21日(金) 14:00開講

12月23日(日)~24日(月・祝) 10:30開講

会場▶パルテノン多摩小ホール(18日~19日)
めぐろパーシモンホール小ホール
(20日~21日/23日~24日)
聴講料▶各日1,000円(自由席)



ザハール・ブロン

共催 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団
提携 公益財団法人多摩市文化振興財団
協力 公益財団法人ジェスク音楽文化振興会

4 ピーター・ウィスベルウェイ(チェロコース)

平成25年**2月20日(水)~21日(木)** 14:00開講

会場▶東京文化会館小ホール
聴講料▶各日1,000円(自由席)
■受講募集概要

募集人数：10名程度
対象年齢：15~30歳
募集期間：10月15日(月)~11月16日(金)
受講回数：1回
受講料：20,000円



ピーター・ウィスベルウェイ

5 ファイナル・コンサート

平成25年**3月16日(土)** 14:00開演

各コースの講師より選出された優秀受講生(優秀賞受賞者)によるコンサートを開催します。

会場▶東京文化会館小ホール
料金▶500円(自由席) 発売日▶11月16日(金)

※レッスンは全コース通訳付きです。
※講師の判断により、受講者の人数・年齢等変更になることがあります。
詳細は公式ホームページ(<http://www.t-bunka.jp/mwit2012/>)をご覧ください。

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

チケット取扱  

子供たちの新しい世界が広がるファミリーコンサートを合唱とオーケストラでお届けします。

10月6日(土) 15:00開演 14:15~ホワイエでイベント「楽器と出会う」を開催します。

会場▶立川市市民会館(アミューたちかわ)大ホール
出演▶指揮:高関健 ナビゲーター:中井美穂
合唱指揮:ロベルト・ガッピアーニ/安部克彦
合唱:スーパー・コーラス・トーキョー
管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団



高関健◎佐藤雅英 中井美穂◎豊田佳弘

料金 S席3,000円 A席2,000円 B席1,500円 学生割引(大学生以下)各席1,000円引き 親子割引(4才~中学生)500円
主催 東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)/公益財団法人立川市地域文化振興財団
後援 立川市教育委員会 チケット取扱 TS e+ 他

都内の文化施設で実力ある若手演奏家によるミニ・コンサートを開催します。

10月7日(日)~28日(日)

7日(日) 会場▶江戸東京たてもの園 子宝湯
【定員70名】当日整理券配布
10:30/11:30 出演▶金管三重奏:多田将太郎(Tp) 他
14:00/15:00 出演▶弦楽二重奏:寺下真理子(Vn) 他

8日(月・祝) 会場▶江戸東京たてもの園 子宝湯
【定員70名】当日整理券配布
10:30/11:30 出演▶ホルン四重奏:濱地宗(Hr) 他
14:00/15:00 出演▶クラリネット三重奏:極木亜裕美(Cl) 他

13日(土) 10:30/11:30 会場▶東京文化会館キャノピー
出演▶金管五重奏:井上康一(Tb) 他
11:00 会場▶下町風俗資料館 1階★
出演▶木管二重奏:吉岡次郎(Fl) 他
会場▶国立西洋美術館 本館1階ロビー
11:00/13:00 出演▶弦楽四重奏:岸本萌乃加(Vn) 他
15:00 出演▶フルート四重奏:吉岡次郎(Fl) 他

14日(日) 13:00/15:00 会場▶国立国会図書館 国際子ども図書館 ホール(3階)
【定員100名程度】
出演▶弦楽二重奏:寺下真理子(Vn) 他
【子どものための音楽会】宮沢賢治と音楽—
「日本の子どもの文学」展によせて:3歳以上向け
14:00/15:00 会場▶恩賜上野動物園 西園 動物園ステージ★
(雨天の場合は西園 動物園ホール)
出演▶弦楽四重奏:瀧村依里(Vn) 他

料金 無料(★の会場では施設への入館料/入園料が必要となります)
主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
共催 独立行政法人国立科学博物館、公益財団法人東京都公園協会 協力 第29回全国都市緑化フェアTOKYO

※各公演20~30分です。 ※やむを得ない事情により、内容を変更又は中止する場合がございますので予めご了承ください。
最新情報と詳細は公式ホームページ(<http://www.t-bunka.jp/mwit2012/machi2.html>)にてご確認ください。

東京文化発信プロジェクトとは
東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力を実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。

チケットはこちらから

- TS 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
- 都警ガイド 03-3822-0727
- チケットぴあ 0570-02-9999
- e+ イープラス <http://eplus.jp>
- ローソンチケット/クラシック・演劇専用回線 0570-000-407 (オペレーター対応10時~20時)
- ※各種割引・東京文化会館友の会のチケット取り扱いは、東京文化会館チケットサービスのみとなります。
- 主催&お問合せ
東京文化会館事業企画課 03-3828-2111(代表) <http://www.t-bunka.jp>
*都合により曲目等が変更になる場合があります。*未就学のお子様のお入場はご遠慮ください。

木之下晃の語る
レンズは語る

ディートリヒ・フィッシャー=ディースカウ
~20世紀最高のバリトン歌手

写真・文~木之下晃

不世出の名バリトン歌手のフィッシャー=ディースカウが5月18日にミュンヘン郊外、シュタルンベルク湖近くにある自宅で逝去。86歳であった。

20世紀最高の歌手と称えられた巨匠は、1925年ベルリン生まれ。第2次大戦のため、ベルリン音大在学中の18歳の時に徴兵。45年に米軍の捕虜となり、イタリアで2年間の抑留生活を送った。捕虜生活の閉塞状況に追い込まれている時、仲間の兵士の前で歌い、互に励まして生きることを知り、それが巨匠の歌の原点になったという。復員後にベルリン音大に復学。47年にベルリン・ドイツ・オペラでデビュー。ピロードのような艶やかな美声と知的な構成力、他を寄せつけない絶大なテクニックで一世を風靡した。初来日は63年で、日生劇場柿落としてカール・ベーム率いるベルリン・ドイツ・オペラ引越し公演『フィガロの結婚』の伯爵役を歌った。

私が初めて巨匠を撮影したのは74年8月3日ミュンヘンで、バイエルン国立歌劇場の『ファルスタッフ』だった。名匠ギュンター・レンネルト演出のファルスタッフ脚は、頓馬で陽気な役作りをしていて、見ているだけで笑いが込み上げてきた。その多彩な歌唱と演技力は、その後数多く見てきた中で、巨匠を凌駕するものに未だお目に掛っていない。翌日にはミハイル・ゲリオ演出の『フィデリオ』に、共演者としてテオ・アダムやジェームズ・キングなどの大物が顔をみせ、指揮はいずれもウォルフガング・サヴァリッシュが振り、49歳の巨匠のまさに絶好調のオペラを撮れたことはとても幸せであった。

巨匠を日本で初めて撮影したのは、79年に東京文化会館で、ゲルハルト・ヘッツェルを中心としたウィーン・フィルの



ディートリヒ・フィッシャー=ディースカウ『ファルスタッフ』 1974.8.3 バイエルン国立歌劇場 ©Tomoe & Akira KINOSHITA

名手によるウィーン室内合奏団との共演だった。その後、83年にイイノ・ホール、87年にサントリーホール。そして引退する前年、日本で最後の公演となった92年の東京芸術劇場でのリサイタルを撮影した。

巨匠との懐かしい思い出の一つは、83年に池袋の西武百貨店美術サロンで開かれた、巨匠自身の油絵の個展である。自画像や夫人で名歌手のユリア・ヴァラディ、それにリヒテルやブレンデルなど

の人物画。具象的な風景画から抽象やカラーズなど、太い線の堂々とした構成力は巨匠の音楽そのもので、著名な美術評論家の瀬木慎一氏も認める玄人肌。その会場を巨匠と夫人を撮りながら一緒に見て廻れたのは得難いひとときだった。

93年に引退後は、湖畔の自宅の広いアトリエで、毎日のように絵筆を走らせていたという。ちなみに、この湖はルートヴィヒ二世が入水死を遂げた所としても知られている。

3日(水) 19:00 Music Weeks in TOKYO 2012 スーパー・コーラス・トーキョー特別公演 **主催公演**

出演 エリアフ・インバル(指揮)
ロベルト・ガッピアーニ(合唱指揮)
浜田理恵(S) 小山由美(Ms) 福井敬(T) 堀内康雄(Br)
東京都交響楽団 スーパー・コーラス・トーキョー
曲目 ワーグナー：ジークフリート牧歌
マラー：カンタータ「嘆きの歌」(全3部)
料金 S5,000 A4,000 B3,000 C2,000 学生1,000
問合せ 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111

6日(土) 15:00 熊川哲也Kバレエカンパニー2012秋ツアー「ドン・キホーテ」

出演 キトリ：荒井祐子
バジル：熊川哲也
シアターオーケストラキー
演出・再振付・舞台美術・衣装 熊川哲也
原振付 マリウス・プティパ アレクサンドル・ゴルスキー
料金 S18,000 A14,000 B10,000 C8,000
問合せ チケットスペース 03-3234-9999



熊川哲也
◎岡村昌宏

8日(月・祝) 15:00 都民劇場音楽サークル第601回定期公演 庄司紗矢香&ジャンルカ・カシオーリ

出演 庄司紗矢香(Vn) ジャンルカ・カシオーリ(Pf)
曲目 ヤナーチェク：ヴァイオリンソナタ
ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ第10番
ドビュッシー：ヴァイオリンソナタ
シューマン：ヴァイオリンソナタ第2番
料金 S7,000 A6,000 B5,000 C4,000
問合せ 都民劇場 03-3572-4311



庄司紗矢香
◎Kishin Shinoyama
カシオーリ
◎Silvia Lelli

東京文化会館チケットサービスのご案内

当館及び他会場で開催される、オペラ、バレエ、クラシックコンサート等のチケットを多数取り揃えております。窓口、お電話の他、インターネットでもご購入いただけます。ぜひご利用ください。

- ◆営業時間 10:00～19:00 電話・窓口
- ◆TEL 03-5685-0650 ◆HP <http://www.t-bunka.jp/>
- ◆休業日(9～12月) 9月 18日(火) 19日(水)*
10月 1日(月)* 2日(火)
11月 12日(月)* 13日(火)
12月 未定
- *の日は電話のみ営業 10:00～18:00

●掲載情報は2012年8月14日現在のものです。
●主催者等の都合により、公演内容が変更になる場合があります。また、公演によっては全席種のチケットをご用意できない場合もあります。詳しくは各主催者にお問合せください。
アルト(A)/アコーディオン(Ac)/バトン(Bn)/バス(Bs)/バスバトン(Bs-Bn)/バンドネオン(Bn)/カウンターテナー(CT)/コントラバス(Cb)/クラリネット(Cl)/チェンバロ(Cem)/ドラムス(Ds)/ユーフォニアム(Eu)/ファゴット(Fg)/フルート(Fl)/フルティゴ(Fg)/ギター(Gt)/ヴァイオリン(Vn)/ヴァイオリン・ダブル(Vn)/ハープ(Hp)/ホルン(Hr)/キーボード(Key)/メソソプラノ(Ms)/マリンバ(Mar)/オーボエ(Obo)/オルガン(Og)/ピアノ(Pf)/パーカッション(Pc)/ソプラノ(S)/サクソックス(Sax)/テノール(T)/トロンボーン(Tb)/ティンパニ(Tim)/トランペット(Tp)/チューバ(Tu)/ヴィオラ(Va)/ヴィブラフォン(Vib)/チェロ(Vc)/ヴァイオリン(Vn)/ヴォーカル(Vo)/ソプラノサクソックス(S-Sax)/アルトサクソックス(A-Sax)/テナーサクソックス(T-Sax)/バトンサクソックス(Br-Sax)

14日(日) 15:00 ウィーン国立歌劇場2012日本公演 「サロメ」(R.シュトラウス作曲)

出演 サロメ：グン＝プリット・パークミン
ヨカーン：マルクス・マルカルト
ヘロデ：ルドルフ・シャシク
ナラボート：ヘルベルト・リッペルト
フランツ・ウェルザー＝メスト(指揮)
ウィーン国立歌劇場管弦楽団
演出 ポレスラフ・バルロク
料金 S59,000 A52,000 B45,000 C38,000 D29,000
E19,000 F15,000 エコノミー10,000 学生8,000
問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888



「サロメ」
◎Wiener Staatsoper Michael Poehnl

17日(水) 19:00 東京都交響楽団第742回定期演奏会

出演 エリアフ・インバル(指揮)
曲目 プラーマス：交響曲第3番、交響曲第1番
料金 S7,500 A6,500 B5,500 C4,500 Ex2,200
問合せ 都響ガイド 03-3822-0727

27日(土) 15:00 ウィーン国立歌劇場2012日本公演 「アンナ・ボレーナ」(ドニゼッティ作曲)

出演 アンナ・ボレーナ：エディタ・グルベローヴァ
ジョヴァンナ：ソニア・ガナッシ
エンリーコ8世：ルカ・ピサローニ
パーシー卿：シャルヴァムケリア
スメトン：エリザベス・クールマン
エヴェリーノ・ビド(指揮)
ウィーン国立歌劇場管弦楽団・合唱団・舞台上オーケストラ
演出 エリック・ジェノヴェーゼ
料金 S59,000 A52,000 B45,000 C38,000 D29,000
E19,000 F15,000 エコノミー10,000 学生8,000
問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888



「アンナ・ボレーナ」
◎Wiener Staatsoper Michael Poehnl

3日(水) 19:00 水月恵美子&平原あゆみ2台ピアノデュオコンサート

出演 水月恵美子(Pf) 平原あゆみ(Pf) 窪田健志(Per) 竹島裕史(Per)
曲目 パルトーク：2台のピアノと打楽器のためのソナタ 他
料金 自由4,500(当日5,000) ◎アーツ・アイランド 03-6914-0353

4日(木) 18:00 第45回「新しい日本の歌」新作発表演奏会 (混声合唱と芸術歌曲の夕べ)

曲目 平井丈一朗、岩河三郎の作品より
料金 自由3,000 ◎インターミュージック・トーキョウ 03-3475-6870

5日(金) 19:00 トリオ・ラ・ブラージュ結成10周年記念公演

出演 近藤千花子(Cl) 田口美里(Vn) 渚智佳(Pf)
曲目 R.シュトラウス(トリオ・ラ・ブラージュ編)：「薔薇の騎士」組曲 他
料金 自由4,000 学生2,500
◎日本アーティストチケットセンター 03-3944-9999

6日(土) 14:00 田崎悦子New Yorkデビュー40周年記念リサイタル

曲目 リスト：巡礼の年第2年「イタリア」(全7曲) 他
料金 自由5,000 学生3,500 ペア9,000
◎コンサートイマジネーション 03-3235-3777

植田伸子ピアノリサイタル

曲目 ベートーヴェン：ピアノソナタ第7番 他
料金 自由3,500 学生2,000 ◎ミュージックサン 0120-765-727

7日(日) 14:00 浜中浩一クラリネットリサイタル

出演 浜中浩一(Cl) 榎本潤(Pf) 二宮和子(Cl) 北本秀樹(Vc)
曲目 ツェムリンスキー：トリオ 他
料金 自由5,000 学生4,000
◎インターミュージック・トーキョウ 03-3475-6870

足立ギター室内合奏団演奏会

出演 足立正明(指揮,Gt) 星野輝久(Gt) 星野すみれ(Fl) 他
曲目 JSバツハ(足立正明編)：ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲 BWV1060 他
料金 自由3,500(当日4,000)
◎エージーオー企画 03-3336-1571

8日(月・祝) 17:30 里井宏次&The TARO Singers

出演 里井宏次(指揮) ザ・タロ・シンガーズ
曲目 シューベルト(千原英喜編)：水車屋の美しい娘 他
料金 自由4,000 学生1,500 ◎東京アーティストズ 03-3440-7571

9日(火) ニーノ・グヴェタツェ ピアノリサイタル

曲目 ムソルグスキー：展覧会の絵 他
料金 S4,000 A3,000 B2,000 ◎ユラシック 03-3481-8788

花房晴美室内楽シリーズ パリ・音楽のアトリエ (第5集サン＝サーンスの夜会)

出演 花房晴美(Pf) ニコラ・バルデュー(Cl) 木野雅之(Vn)
オットヴィアーノ・クリストフォリ(Tp) 他
曲目 サン＝サーンス：ピアノ五重奏曲 他
料金 自由5,000 学生3,000
◎コンサート・プランニング 03-5411-1090

岡田博美ピアノリサイタル ふらんすplus2012

曲目 デュカス：ソナタ 他
料金 S5,000 A4,000 B2,000
◎カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560

東京混声合唱団第228回定期演奏会

出演 松原千振(指揮) 大谷研二(指揮) 東京混声合唱団
曲目 久保摩耶子：「紙・一枚」 他
料金 自由4,000 学生2,000 ◎合唱音楽振興会 03-3226-9755

東京シンフォニエッタ第32回定期演奏会～西村朗特集～

出演 板倉康明(指揮) 鈴木大介(Gt) 東京シンフォニエッタ 他
曲目 西村朗：オルガン室内オーケストラのための 他
料金 自由4,000 学生3,000 ◎東京コンサート 03-3226-9755

東京ハルモニア室内オーケストラ第45回定期演奏会

出演 西山昌子(Vn) 有馬玲子(Vn) 平岡陽子(Vn)
マティアス・シュルツ(Fl) 他
曲目 メルカダンテ：フルート協奏曲 未短調 他
料金 指定4,000
◎東京ハルモニア室内オーケストラ 090-1260-2934

クローバー・サクソフォン・クワルテットリサイタル

出演 林田祐和(S-Sax) 田村真寛(A-Sax) 貝沼拓実(T-Sax)
坂口大介(Br-Sax)
曲目 JSバツハ(田村真寛編)：ゴルトベルク変奏曲 他
料金 自由3,000 学生2,000
◎インターミュージック・トーキョウ 03-3475-6870

15日(月) 19:00 宮沢明子ピアノリサイタル

曲目 ショパン：3つのマズルカ 他
料金 指定5,500 ◎東京音音 03-3204-9933

日本合唱協会第182回定期演奏会「まほろばを歌うⅣ」

出演 山崎滋(指揮) 半田淳子(琵琶) 日本合唱協会 他
曲目 北爪道夫：「平家物語 幻想」 他
料金 指定4,000(当日4,400) 自由3,500(当日3,800)
65歳以上2,500※ 高校生以下1,500※ ペア5,500※
※前売りのみ ◎日唱 03-3791-4088

日本モーツァルト協会10月例会「デン・ハーグのモーツァルト」

出演 寺神戸亮(Vn) 長澤真澄(Hp)
曲目 モーツァルト：ヴァイオリンソナタ「ハーグ・ソナタ」K26～K31 他
料金 自由4,500 学生2,000 ◎日本モーツァルト協会 03-5467-0626

八村義夫の世界～ひとつの音に世界を見、ひとつの曲に自らを聞く～

出演 會田瑞樹(打楽器) 山口泉奈(Mar) 須田詩織(Pf)
米重美文子(Mar) 他
曲目 八村義夫：星辰譜 他
料金 自由2,000 ◎會田瑞樹 080-6008-1297

東京文化会館オペラBOX「ヘンゼルとグレーテル」 主催公演

出演 ヘンゼル：富岡明子(Ms) グレーテル：高橋さやか(S)
魔法：森山京子(Ms) 朝岡聡(ナビゲーター) 他
脚本：ファン・デン・ヘーグ「ヘンゼルとグレーテル」(全3幕日本語上演)
料金 指定3,000 ◎東京文化会館事業企画課 03-3828-2111

バーヴェル・ネルセシアン ピアノリサイタル

曲目 グラナドス：ロマンティックな情景 他
料金 自由4,000(当日4,500) 学生2,000(当日2,500)
◎花風詩88クラブ 083-973-1877

瀬尾久仁&加藤真一郎ピアノデュオリサイタル2012

出演 瀬尾久仁(Pf) 加藤真一郎(Pf)
曲目 ドビュッシー：白と黒 他
料金 自由3,500 学生1,500 ◎東京コンサート 03-3226-9755

仁上亜希子ピアノリサイタル

曲目 シューマン：ピアノソナタ第3番 他
料金 自由2,500 ◎日本演奏連盟 03-3539-5131

ムスカシイはおもしろい!古典四重奏団のシューベルト2012 ～レクチャー付きコンサート～ 第2回

出演 川原千真(Vn) 花崎淳生(Vn) 三輪真樹(Va)
田崎瑞博(Vc,レクチャー)
曲目 シューベルト：弦楽四重奏曲「死と乙女」 他
料金 指定4,000 学生2,000 ペア7,000
◎アレグロミュージック 03-5216-7131

東京文化発信プロジェクト「サウンド・ライブ・トーキョー」

出演 菊地雅章 マヘル・シャルル・ハシュバズ
山下残 Baby Arabia ティム・エツェルス 他
曲目 未定
料金 自由(料金未定)
◎国際舞台芸術交流センター(PARC)03-5724-4660

岡本愛子ピアノリサイタル～デュティエの作品による～

出演 岡本愛子(Pf) クリストフ・グランデル(Obo) カトリーヌ・カンタン(Fl)
曲目 デュティエ：ピアノソナタ 他
料金 自由4,500 学生3,500 ◎新演奏家協会 03-3561-5012

東京文化会館モーニングコンサートvol.63 主催公演

出演 鷺尾麻衣(S) 穴見めぐみ(Pf)
曲目 パーンスタイン：「キャンディード」より
「着飾ってきらびやかに」 他
料金 自由500 ◎東京文化会館事業企画課 03-3828-2111

le Parfum de Futur vol.11「一柳慧のピアノ音楽第2章」

出演 飯野明日香(Pf)
曲目 一柳慧：「雲の表情」全曲 他
料金 自由3,500 学生2,000 ◎カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560

松本和将ピアノリサイタル～原点回帰～ 6年の時を経て、ドイツの巨匠たちを弾く

曲目 ベートーヴェン：ピアノソナタ第17番「テンペスト」 他
料金 指定4,000 学生2,500 ◎東京音協 03-5774-3030

4日(日) 15:00 ウィーン国立歌劇場2012日本公演 「アンナ・ボレーナ」(ドニゼッティ作曲) ※詳細はP.14をご覧ください 問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888

9日(金) 19:00 東京バレエ団「くるみ割り人形」(全2幕) 出演 クララ:小出領子(9日・11日) 佐伯知香(10日) 王子:ダニエル・シムキン(9日・11日) 柄本弾(10日) シアターオーケストラキーヨー 振付 ワシリー・ワイノネン 料金 S12,000 A10,000 B8,000 C6,000 D5,000 E4,000 エコノミー3,000 学生1,500(9日・11日) S9,000 A7,000 B5,000 C4,000 D3,000 E2,000 学生1,000(10日) 問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888



小出領子 ダニエル・シムキン ©Enrico Nawrath

15日(木) 18:30 ソフィア国立歌劇場「カヴァレリア・ルスティカーナ」「ジャンニ・スキッキ」 出演 「カヴァレリア・ルスティカーナ」(マスカニ作曲) サントゥツァ:ダニエラ・デコヴァ トリッドウ:マルティン・イリエフ アルフィオ:ブラーメン・ディミトロフ ルチア:ルミヤナ・ベトロヴァ アレクサンドロ・サンジョルジ(指揮) 「ジャンニ・スキッキ」(プッチーニ作曲) ジャンニ・スキッキ:ウラディミール・サムソフ ラウレツタ:小林沙羅 リヌッチョ:ダニエル・オストレツォフ ヴェリザル・ゲンチェフ(指揮) ソフィア国立歌劇場管弦楽団・合唱団 演出 プラーメン・カルターロフ 料金 S22,000 A19,000 B16,000 C13,000 D10,000 E7,000 F4,000 問合せ ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040

17日(土) 14:00 ソフィア国立歌劇場「トスカ」(プッチーニ作曲) 出演 トスカ:佐藤しのぶ(17日) ラドステイーナ・ニコラエヴァ(18日) マリオ・カヴァラドッシ:マルティン・イリエフ(17日) コスタティン・アンドレーエフ(18日) スカルピア男爵:ピセル・ゲオルギエフ(17日) ニコラ・デ・ミケレ(18日) アレクサンドロ・サンジョルジ(指揮) ソフィア国立歌劇場管弦楽団・合唱団 演出 プラーメン・カルターロフ 料金 S22,000 A19,000 B16,000 C13,000 D10,000 E7,000 F4,000 問合せ ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040

19日(月) 19:00 東京都交響楽団第744回定期演奏会 出演 小林研一郎(指揮) 店村真積(Va) 曲目 ベートーヴェン:交響曲第6番「田園」 ベルリオーズ:交響曲「イタリアのハロルド」 料金 S6,500 A5,500 B4,500 C3,500 Ex1,800 問合せ 都響ガイド 03-3822-0727

20日(火) 19:00 都民劇場音楽サークル第602回定期公演 サンフランシスコ交響楽団 出演 マイケル・ティルソン・トーマス(指揮) ユジャ・ワン(Pf) 曲目 ジョン・アダムズ:ショート・ライド・イン・ア・ファスト・マシン プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第2番 ラフマニノフ:交響曲第2番 料金 S19,000 A15,000 B11,000 C7,000 問合せ 都民劇場 03-3572-4311



マイケル・ティルソン・トーマス ユジャ・ワン

22日(木) 19:00 マリンスキー・バレエ「アンナ・カレーニナ」(全2幕) 出演 アンナ:ディアナ・ヴィシニョワ(22日) ウリヤーナ・ロバートキナ(23日) ヴロンスキー:コンスタンチン・ズヴェレフ(22日) アンドレイ・エルマコフ(23日) カレーニン:イスロム・バイムラドフ(22日) ヴィクトル・バラノフ(23日) マリンスキー劇場管弦楽団 振付 アレクセイ・ラトマンスキー 料金 S21,000 A18,000 B15,000 C13,000 D9,000 E5,000(22日) S22,000 A19,000 B15,000 C13,000 D9,000 E5,000(23日) 問合せ ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040

24日(土) 18:00 マリンスキー・バレエ「ラ・バヤデーレ」(全3幕) 出演 ニキヤ:ヴィクトリア・テリョーシキナ(24日) アリーナ・ソーモフ(25日) ディアナ・ヴィシニョワ(26日) ソロル:ウラジミール・シクリャロフ(24日) エフゲニー・イワンチェンコ(25日) イーゴリ・コルブ(26日) ガムザッティ:アナスタシア・マトヴィエンコ(24,26日) エカテリーナ・コンダウーロワ(25日) マリンスキー劇場管弦楽団 振付 マリウス・プティパ 料金 S22,000 A19,000 B15,000 C13,000 D9,000 E5,000(24,25日) S21,000 A18,000 B15,000 C13,000 D9,000 E5,000(26日) 問合せ ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040

27日(火) 18:45 マリンスキー・バレエ「白鳥の湖」(全3幕) 出演 オデット/オディール:ウリヤーナ・ロバートキナ(27日) アナスタシア・マトヴィエンコ(29日昼) アリーナ・ソーモフ(29日夜) ジークフリート:ダニエラ・コルステンツェフ(27日) イーゴリ・コルブ(29日昼) アレクサンドル・セルゲエフ(29日夜) マリンスキー劇場管弦楽団 振付 マリウス・プティパ レフ・イワノフ 料金 S21,000 A18,000 B15,000 C13,000 D9,000 E5,000 問合せ ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040

28日(水) 19:00 都民劇場音楽サークル第603回定期公演 バイエルン放送交響楽団 出演 マリス・ヤンソンス(指揮) 曲目 ベートーヴェン:劇音楽「エグモント」序曲 交響曲第8番、交響曲第7番 料金 S26,000 A21,000 B16,000 C12,000 問合せ 都民劇場 03-3572-4311



マリウス・ヤンソンス

1日(木) 18:45 日本モーツァルト協会11月例会 ウィーンのリヒャルト・シュトラウスと友情 出演 ウィーン国立歌劇場管弦楽団メンバー 曲目 モーツァルト:ホルン五重奏曲 K407(386c) 他 料金 自由6,000 学生2,000 日本モーツァルト協会 03-5467-0626

2日(金) 19:00 トリオ・ミニストレル コンサートツアー2012「井上頼豊生誕100周年記念」 出演 木野雅之(Vn) 小川剛一郎(Vc) 北住淳(Pf) 曲目 チャイコフスキー:トリオ「偉大な芸術家の生涯」 他 料金 自由5,000 学生3,000 東京交響楽団 044-865-2702

3日(土・祝) 18:00 クシシュトフ・ヤブウォンスキ ピアノリサイタル ショパンとリスト 愛と悲しみの旋律 曲目 ショパン:バラード第4番 他 料金 S5,000 A3,500(学割25%引) アイエムシーチケットセンター 03-3401-9760

4日(日) 14:00 舘野泉フェスティバル〜左手の音楽祭vol.2 「光と水、土と花と樹のTransformation」 曲目 吉松隆:タピオラ幻想 他 料金 指定5,000 東京交響楽団 03-5774-3040

26日岸本力バスリサイタル 「フシキン・メダル」受賞記念リサイタル(チャイコフスキーの愛と祈り) 出演 岸本力(Bs) 村上弦一郎(Pf) 森山太(朗読) 曲目 チャイコフスキー:ドン・ファンのセレナーデ op.38-1 他 料金 自由4,000 学生3,000 二期会チケットセンター 03-3796-1831

5日(月) 19:00 長島剛子・梅本実リトデュオリサイタル・世紀末から20世紀へPart.XI シェーンベルク「月に憑かれたピエロ」誕生100年を記念して 出演 長島剛子(S) 梅本実(Pf) 川島素晴(作曲・指揮) 他 曲目 シェーンベルク:「月に憑かれたピエロ」 他 料金 自由4,000 日本演奏連盟 03-3539-5131

7日(水) 19:00 片山敬子ピアノリサイタル 曲目 シューベルト:ピアノソナタ第21番 他 料金 自由4,000 ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

8日(木) 19:00 近藤伸子ピアノリサイタル〜20世紀のピアノ曲VI〜メシアンの夕べ 出演 近藤伸子(Pf) 小森谷巧(Vn) 三井秀美(Cl) 河野文昭(Vc) 曲目 メシアン:世の終わりのための四重奏曲 他 料金 自由4,000 学生2,000 東京交響楽団 03-3226-9755

9日(金) 19:00 ミュージック・イン・スタイル 岩崎淑シリーズvol.36 出演 岩崎淑(Pf) 河野克典(Br) 島田真千子(Vn) 堀沙也香(Vc) 曲目 ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲第10番、遙かなる恋人に寄す 他 料金 指定5,000 学生3,000 プロ・アルテ・ミュージック 03-3943-6677

10日(土) 14:00 都響メンバーによる室内楽トークコンサートvol.13(輝けるドラゴンクエスト) 出演 すきやまこういち(お話) 都響メンバーによる金管五重奏 曲目 すきやまこういち:「ドラゴンクエストI-II-III」より 他 料金 S4,000 A3,000 都響ガイド 03-3822-0727

三戸素子ヴァイオリンリサイタル 出演 三戸素子(Vn) ティム・レーベンスクロフト(Pf) 曲目 モーツァルト:ヴァイオリンソナタ K378 他 料金 自由4,000 ハラマミュージックエンタープライズ 03-3587-0218

湯浅譲二 合唱作品による個展第2回 出演 西川竜太(指揮) ヴォクス・マリーナ 混声合唱団空 男声合唱団クール・ゼフィーール 女声合唱団暁 曲目 湯浅譲二:混声合唱曲「雲」 他 料金 自由3,000(当日3,500) 学生2,000 実行委員会事務局(平原) 080-1208-6802

14日(水) 19:00 中井恒仁のブラームスピアノ全曲(ソロ・連弾・2台)シリーズ第7回 出演 中井恒仁(Pf) 武田美和子(Pf) 曲目 ブラームス:6つのピアノ小品 他 料金 自由4,000 プロ・アルテ・ミュージック 03-3943-6677

15日(木) 19:00 白尾隆フルートリサイタル 出演 白尾隆(Fl) 白尾絵里(Pf) 曲目 シューベルト:「しほめる花」の主題による序奏と変奏 他 料金 自由4,000 学生3,000 村松楽器販売 03-3367-6000

16日(金) 19:00 プラチナソウル第2夜「パッハ親子とその時代」主催公演 出演 小林道夫(Cem) 工藤重典(Fl) 曲目 J.S.バッハ:フルートとクラヴィアのためのソナタ第1番 他 料金 S4,800 A3,800 B売切 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111

17日(土) 14:00 西岡あかねフルートリサイタル 出演 西岡あかね(Fl) 西岡あさみ(Pf) 曲目 ブーランク:フルートとピアノのためのソナタ 他 料金 自由2,500 日本演奏連盟 03-3539-5131

18日(日) 14:00 第24回和波孝禧アフタヌーンコンサート 出演 和波孝禧(Vn) 土屋美寧子(Pf) 岩崎洗(Vc) 曲目 シューベルト:ピアノトリオ第2番 他 料金 A5,000 B4,500 AMATI 03-3560-3010

19日(月) 19:00 ウラジーミル・スヴェルドロフ=アシケナージ ピアノリサイタル 曲目 ムソルグスキー:展覧会の絵 他 料金 自由4,000 学生2,000 ミリオンコンサート協会 03-3204-9933

20日(火) 19:00 豊田弓乃ヴァイオリンリサイタル 出演 豊田弓乃(Vn) 小林亜矢乃(Pf) 曲目 レスピーギ:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 他 料金 自由4,000 学生2,000 ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

21日(水) 11:00 東京文化会館モーニングコンサートvol.64 主催公演 出演 周防亮介(Vn) 富岡順子(Pf) 曲目 サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン 他 料金 自由500 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111

アントネッロ第8回定期公演「カルミナ・ブラーナ」 出演 濱田芳通(リコーダー、コルネット) 石川かおり(中世フィードル) 西山まりえ(中世ハープ) 高橋淳(T) 他 曲目 ブラーナ:13世紀「プラスヌ写本」による中世の歌 料金 指定6,000 自由4,500 学生自由2,000 車椅子2,000 〆アントネッロ 03-5685-2725

22日(木) 19:00 吉原すみれパーカッションリサイタル2012 出演 吉原すみれ(Pc) 山口恭範(Pc) 曲目 一柳慧:パーカッションデュオのための新作 他 料金 自由4,000 学生2,000 東京コンサート 03-3226-9755

23日(金・祝) 14:00 クアルテット・エクセルシオ第24回東京定期演奏会 出演 西野ゆか(Vn) 山田百子(Vn) 吉田有紀子(Va) 大友肇(Vc) 曲目 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第10番「ハープ」 他 料金 自由4,000 学生1,000 ペア6,000 シニア2,000 〆ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

24日(土) 18:00 日本テレマン協会第209回定期演奏会 出演 延原春春(Ob) 高田泰治(Fp) 浅井咲乃(Vn) 姜隆光(Va) J.S.バッハ:ヴァイオリンとオブリガートチェンバロの島のソナタ BWV1017 他 料金 自由3,500(当日4,000) 65歳以上2,000 〆日本テレマン協会 06-6345-1046

25日(日) 14:00 第10回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート 高橋悠治+古澤巖 出演 高橋悠治(Pf) 古澤巖(Vn) 曲目 シューベルト:ヴァイオリンとピアノのための「ソナチネ第2番短調」 他 料金 自由4,000 日本点字図書館 03-3209-0241

26日(月) 19:00 第8回浜松国際ピアノコンクール入賞者披露演奏会 東京公演 出演 第8回浜松国際ピアノコンクール入賞者6名 料金 自由3,000 学生1,000 〆浜松国際ピアノコンクール事務局 053-451-1148

27日(火) 19:00 ウェルナー・ヒンク&杉谷昭子デュオの夕べ 出演 ウェルナー・ヒンク(Vn) 杉谷昭子(Pf) 曲目 ベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ第5番「春」 他 料金 指定6,000 ミオコンサート 090-1667-7241

28日(水) 19:00 熊本マリ 希望と祈りの音楽 出演 熊本マリ(Pf) 林はるか(Vc) 曲目 J.S.バッハ:主よ、人の望みの喜びよ 他 料金 指定4,500 MIN-ON インフォメーションセンター 03-3226-9999

29日(木) 19:00 水谷川優子リサイタルシリーズvol.5 ベートーヴェン作品全曲演奏会(第2日) 出演 水谷川優子(Vc) 山本貴志(Pf) 曲目 ベートーヴェン:チェロソナタ第2番 他 料金 指定4,500 コンサートイマジネーション 03-3235-3777

30日(金) 11:00 創造・楽落らひvol.22 -音楽家と落語家のコラボレーション- 主催公演 出演 古今亭今輔(落語) 他 曲目 第1部:ミニコンサート 第2部:落語と音楽のコラボレーション「チョココロネ政談」 料金 自由500 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111

ルシア塩満アルパ・アコースティックコンサート 出演 ルシア塩満(アルパ) 他 曲目 愛犬ベ 他 料金 指定4,500 東京交響 03-5774-3030

2日(日) 18:00 マリンスキー・バレエ「オールスター・ガラ」

7日(金) 19:00 東京文化会館舞台芸術創造事業 日本舞踊×オーケストラ伝統の競演

8日(土) 19:00 都民劇場音楽サークル第604回定期公演 アヌ・ケフェレック ピアノリサイタル

9日(日) 14:00 関孝弘ピアノリサイタル2012

10日(月) 19:00 宮本文昭指揮 オーケストラMAP'S

15日(土) 15:00 東京バレエ団「くるみ割り人形」(全2幕)

19日(水) 18:50 第九と皇帝

20日(木) 19:00 東京都交響楽団第746回定期演奏会

21日(金) 18:30 第62回メサイア演奏会(藝大メサイア)

22日(土) 14:00 第119回 2012第九演奏会

23日(日・祝) 14:00 都民交響楽団 2012年特別演奏会

24日(月・祝) 14:00 亀淵友香&VOJA ~ Christmas Gospel Night 2012 ~

25日(火) 19:00 都響スペシャル「第九」

27日(木) 19:00 合唱舞踊劇「ルードヴィヒ」

28日(金) 19:30 東京シティ・フィル第九特別演奏会

31日(月) 13:00 ベートーヴェンは凄い!全交響曲連続演奏会2012

1日(土) 19:00 齋藤行クラリネットリサイタル(第28回)

2日(日) 14:00 吉田誠クラリネットリサイタル(東京音楽コンクール入賞者リサイタル)

3日(月) 19:00 普天間かおりLIVE2012

4日(火) 18:45 日本モーツァルト協会12月例会「ピアノが奏でる新しい世界」

5日(水) 19:00 今川映美子~シューベルティアードvol.10

6日(木) 19:00 第22回東京アーツアンサンブル演奏会

7日(金) 19:00 日本合唱協会第183回定期演奏会「ルネッサンス・アカペラの輝き」

8日(土) 14:00 籠野泉フェスティバル~左手の音楽祭vol.3(祈り~夢に向かって)

山崎小桃ソプラノリサイタル~月に寄せる歌~

ふれあいトリオ~吉田恭子と仲間たち~

障がいをお持ちの方の為にコンサート

ふれあいトリオ10周年記念親子コンサート

10日(月) 18:30 日中友好40周年記念 日中2大バリトンコンサート

11日(火) 19:00 石井啓子アンサンブルシリーズXXXIV

13日(木) 19:00 ロンドンアンサンブル 25周年室内楽演奏会

14日(金) 11:00 東京文化会館モーニングコンサートvol.65 主催公演

19:00 東京混声合唱団第229回定期演奏会

15日(土) 11:00 第55回東京国際ギターコンクール及び開催記念コンサート

18:30 記念コンサート

19日(水) 19:00 アンサンブル・ロココ第26回クリスマスバロックコンサート

20日(木) 19:00 小森輝彦&服部容子デュオリサイタルvol.8

21日(金) 19:00 ブラチナ・ソワレ第3夜「冬の一夜、シューマンとともに」 主催公演

22日(土) 14:00 デビュー25周年記念 長谷川陽子チェロの個展2012

23日(日・祝) 14:00 田中淑恵メソソプラノリサイタル

23日(日・祝) 19:30 Green Meadow ハンドベルリンガーズ20周年記念コンサート

24日(月・祝) 14:00 箱崎由衣クラリネットリサイタル

19:00 鄭宇(テイウ)と仲間達 第7回コンサート

25日(火) 19:00 作曲家・杉本龍之の世界

26日(水) 19:00 神谷満実子おしゃべり音楽会Part13 白雪姫と5人の男達

27日(木) 19:00 松本明ピアノリサイタル

31日(月) 14:00 ベートーヴェン弦楽四重奏曲 中・後期9曲演奏会

音楽資料室より

10~12月に開催される公演から、今回は録音資料6点、映像資料4点をご紹介します。

東京文化発信プロジェクト

Music Weeks in TOKYO 2012 スーパー・コーラス・トーキョー特別公演

世界的な合唱指揮者ガッピアーニ率いる合唱団スーパー・コーラス・トーキョーが東京都交響楽団と、そのプリンシパル・コンダクター、インバルと共演。プログラム曲より、若きマーラーのロマンに満ちた作品の録音資料をご紹介します。

1 マーラー：カンタータ「嘆きの歌」

LP 請求記号 B97.4

出演：ヘザー・ハーバー(ソプラノ)
ノーマ・プロクター(アルト)
ヴェルナー・ホルヴェーク(テノール)
演奏：ベルナルト・ハイティンク指揮
アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団
オランダ放送合唱団



エリク・サーラ

発売：日本フォノグラム 発売番号：SFX-8653

ブラチナ・ソワレ

第2夜「バッハ親子とその時代」は、鍵盤奏者であり、バッハ解釈の第一人者でもある小林道夫が工藤重典をゲストに迎えて、第3夜「冬の一夜、シューマンとともに」は、堀米ゆず子、山崎伸子、津田裕也のソロ・アンサンブル両面に精通したトリオが、それぞれの夜を音楽で彩ります。当日の演奏曲目が収録された録音資料をご紹介します。

2 J.S.バッハ：フルートとクラヴィアのためのソナタ第1番

短調 BWV.1030

LP 請求記号 B93.8

演奏：小林道夫(チェンバロ)
山岡重治(ブロックフレーテ) 他

発売：フォンテック音響

発売番号：RFO-1004S



小林道夫

3 シューマン：ピアノ三重奏曲第1番 二短調 op.63

CD 請求記号 2G2.69-70

演奏：ボザール・トリオ

発売：PHILIPS 発売番号：PHCP-1325/1326

東京文化会館オペラBOX 「ヘンゼルとグレーテル」

小ホールの特徴を活かして極上の音響空間でのひとときを堪能できる「オペラBOX」。今回予定されている、家族で楽しめる演目を収録した映像資料をご紹介します。

4 歌劇「ヘンゼルとグレーテル」(フンパーディンク作曲)

LD 請求記号 ALD75

演出：アウグスト・エヴァーディング

出演：ブリギッテ・ファスベンダー(ヘンゼル/メゾ・ソプラノ)
エディタ・グベルローヴァ(グレーテル/ソプラノ)
ヘルマン・ブライ(父親/バリトン) 他

演奏：ゲオルグ・ショルティ指揮

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン少年合唱団

発売：ポリドール 発売番号：W80Z-25016

大ホールの公演から

10月から11月にかけて来日するウィーン国立歌劇場のプログラムより「サロメ」を、11月から12月にかけて来日するマリンスキー・バレエの公演に出演するロバートキナ、ヴィシニョーフに関する映像資料(ドキュメンタリー)をご紹介します。

5 歌劇「サロメ」(R.シュトラウス作曲)

LD 請求記号 ALD106

演出：ゲッツ・フリードリヒ

出演：ハンス・バイラー(ヘロディア/テノール)

アストリッド・ヴァルナイ(ヘロディアス/メゾ・ソプラノ)
テレサ・ストラータス(サロメ/ソプラノ) 他

演奏：カール・ベーム指揮、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

発売：ポリドール 発売番号：W80Z-24022

6 マリンスキー劇場のスターたち 1.ウリヤーナ・ロバートキナ

DVD 請求記号 DVD916

出演：ウリヤーナ・ロバートキナ、ワレリー・ゲルギエフ
ガリーナ・ムシャンスカヤ(インタビュー)
他、マリンスキー・バレエ

発売：新書館 発売番号：DD06-1113

7 マリンスキー劇場のスターたち 2.ディアナ・ヴィシニョーフ

DVD 請求記号 DVD898

出演：ディアナ・ヴィシニョーフ、ワレリー・ゲルギエフ
ガリーナ・ムシャンスカヤ(インタビュー)
他、マリンスキー・バレエ

発売：新書館 発売番号：DD06-1114

小ホールの公演から

小ホールで行われるコンサートの中から、プログラム曲に関連する資料をご紹介します。

8 10/14 クローバー・サクソフォン・クアルテット リサイタル

ベルノー：サクソフォン四重奏曲

CD 請求記号 2G5.22

演奏：アルモ・サクソフォン・クアルテット

発売：Orange Note Production 発売番号：ON-3013

9 11/5 長島剛子・梅本実里トリオデュオリサイタル

一世末から20世紀へPart XI

シェーンベルク「月に憑かれたピエロ」誕生100周年を記念して
シェーンベルク：月に憑かれたピエロ op.21

LP 請求記号 F106.4

出演：Mary Thomas(reciter)

演奏：デーヴィッド・アサートン指揮、ロンドン・シンフォニエッタ

発売：キングレコード 発売番号：SLC-2454

10 12/24 箱崎由衣クラリネット・リサイタル

バーンスタイン：クラリネットとピアノのためのソナタ

CD 請求記号 3H6.54

演奏：ヤン・ヤクブ・ボクン(クラリネット)、カタジナ・カチョロフスカ(ピアノ)

発売：マーキュリー 発売番号：JBR-001

*当資料室は、この他にもさまざまな資料を所蔵しております。
是非ご利用ください。

資料室 ご案内

東京文化会館4Fには、音楽資料室があります。楽譜、CD・LP、映像、図書など、クラシック音楽を中心とした資料の閲覧・視聴ができます。

初回は、お名前、住所を確認できるものをお持ちください。電話での資料に関するご質問にもお答えしております(日・祝日を除く9~17時)。インターネットでも所蔵資料を検索することができます。

TEL: 03-3828-2111(代表)

URL: <http://t-bunka.opac.jp/index.html>

コピーサービスを除き、料金は必要ありません。

開室時間

火曜~土曜 13時~20時(コピー受付 18時30分まで)

日曜・祝日 13時~17時(コピー受付 16時まで)

*開室時間は変更になる可能性があります。ホームページや電話でご確認ください。

休室日

毎週月曜

*9月17日、10月8日は祝日、12月24日は振替休日ですが、月曜のため休室となります。

・保守日等(9月18・19日、10月2・3日、11月13・14日、12月18日)

・年末年始(12月28日~1月3日)

*詳しくは、ホームページのカレンダーや電話等でご確認ください

URL: <http://www.t-bunka.jp/library/index.html>

都響ニュース Vol.25

東京文化会館から上質の音楽を発信!

芸術の秋~年末は都響の演奏会をお楽しみください!

音脈読者のみなさま、いかがお過ごしでしょうか?
秋の東京都交響楽団は聴き逃せない公演ばかりです!
定期演奏会では、10月はインバルがブラームスの全交響曲演奏に取り組み、文化会館では第1番と第3番をお聴きいただけます。
11月は小林研一郎によるベートーヴェン「田園」交響曲と、都響特任首席奏者の店村真積の独奏によりベルリオーズの大作「イタリアのハロルド」を。12月は注目を集めるフルシャが、同じくベルリオーズとマルティヌーの二つの幻想を紡ぎます。

また室内楽トークコンサートでは、ドラゴンクエストの音楽を金管五重奏の勇ましい響きでお贈りします。
そして今年の「第九」演奏会には、ベルリン・フィルで首席クラリネット奏者を務めた後、近年は指揮者として欧州の歌劇場などで活躍するシュテフェンスが登壇します。
注目公演が揃った秋の都響の演奏会にご期待ください!皆様からのお申込をお待ちしております!

10~12月秋冬公演 発売開始!

定期演奏会Aシリーズ

各回19時開演 東京文化会館 大ホール

第742回 10月17日(水)

好評発売中

指揮/エリアフ・インバル

ブラームス：交響曲第3番
ブラームス：交響曲第1番

エリアフ・インバル
©堀田力丸



第744回 11月19日(月)

好評発売中

指揮/小林研一郎
ヴィオラ/店村真積(都響特任首席奏者)*

ベルリオーズ：交響曲「イタリアのハロルド」*
ベートーヴェン：交響曲第6番「田園」

小林研一郎
©Satoru MITSUTA

店村真積



第746回 12月20日(木)

一回券 8月25日(土)発売

指揮/ヤクブ・フルシャ

マルティヌー：交響曲第6番「交響的幻想曲」
ベルリオーズ：幻想交響曲



ヤクブ・フルシャ
©堀田力丸

一回券：第742回 SY¥7,500 A~Ex完売
上記以外 SY¥6,500 AY¥5,500 BY¥4,500 CY¥3,500 Ex¥1,800(11/19完売)

シルバーエイジ割引(65歳以上)：A~C席 30%OFF /ジュニア(18歳未満)・学生割引：A~C席 50%OFF /ハンディキャップ割引/その他各種割引あり(詳しくはお問合せください)

都響スペシャル「第九」

19:00開演 東京文化会館 大ホール

12月25日(火)

8月25日(土)発売

指揮/カール=ハインツ・シュテフェンス
ソプラノ/澤畑恵美 メゾソプラノ/竹本節子
テノール/福井敬 バリトン/福島明也 合唱/二期会合唱団
ベートーヴェン：序曲「レオノレ」第3番
ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付」



シュテフェンス
©Gert Klemmeyer



澤畑恵美



竹本節子



福井敬 福島明也

一回券：SY¥8,000 AY¥7,000 BY¥6,000 CY¥5,000 Ex¥2,200

シルバーエイジ割引(65歳以上/200席限定)：S~C席 30%引/ジュニア(18歳未満)・学生割引：S~C席 50%引/ハンディキャップ割引あり
*「第九(12/25)」+東京文化会館主催「響の森vol.32ニュー・イヤークンサート2013」(1/3)セット券 2公演同時申し込みで20%OFF(200組限定) ※詳しくはお問い合わせください。
※12月24日(月・振)14時開演・東京芸術劇場、12月26日(水)19時開演・サントリーホールでも同プログラムでの公演がございます。

都響メンバーによる室内楽トークコンサート

14時開演 東京文化会館 小ホール

Vol.13 輝けるドラゴンクエスト《金管五重奏》11月10日(土)

好評発売中

トランペット/高橋敦、中山隆崇 ホルン/西條貴人 トロンボーン/小田桐寛之
チューバ/佐藤潔 スペシャルゲスト/すぎやまこういち(お話)

第1部 ガブリエリ：カンツォン・ベル・ソナーレ第4番 / カンツォン第1番

ブッチェーニ：歌劇「ラ・ボエーム」よりムゼッタのワルツ

ホロヴィッツ：ミュージック・ホール組曲

第2部 すぎやまこういち：「ドラゴンクエストII・III」の音楽より



高橋敦
©堀田力丸



中山隆崇
©野口賢一郎



西條貴人
©野口賢一郎



小田桐寛之
©堀田力丸



佐藤潔
©堀田力丸



すぎやまこういち
©依田泰司郎

一回券：SY¥4,000 AY¥3,000 シルバーエイジ(65歳以上)各席10%引 ジュニア(18歳未満)・学生各席20%引 ハンディキャップ割引あり

【来場者特典】上野地域の各店へご優待サービス ※詳しくは会場にて配布のチラシをご参照ください。(協力：上野のれん会)

ご予約とお問合せ

【都響ガイド】03-3822-0727 <http://www.tmsu.or.jp>(ホームページからも予約できます)

東京文化会館1階 大ホール ホワイエ入口左側 月~金 10時~18時/土日祝休み

*主催演奏会開催日は営業時間に変更になります。

*発売初日は電話受付(10~17時)のみ

会館からのお知らせ

東京文化会館 友の会
Club Wa-Wa
のご案内

“音楽の殿堂”東京文化会館を応援して下さる舞台芸術ファンのためのクラブ、Club Wa-Wa(わあーわ)。
Wa-Waとは、ご支援くださる皆様の“輪”と“和”を意味します。
東京文化会館は、昭和36(1961)年の開館以来、日本における舞台芸術の中心地として半世紀にわたる歴史を刻んできました。伝統をふまえ、未来へ向けて歩む会館を、Club Wa-Waの皆様に支えていただき、さらなる“輪”を広げていただきたいと思います。多くの皆様のご入会を心よりお待ちしております。



会員プラン

- ① **ベーシックプラン** 年会費 ¥2,100
メルマガ、ホームページを活用してよりスピーディーに情報をお届けするプラン。
- ② **クラシックプラン** 年会費 ¥2,625
毎月1回、会報誌 Letter Wa-Waをご郵送するプランです。

申込プラン	入会金	年会費	メールマガジン	会報誌の郵送	チケットオンライン購入
友の会 ベーシックプラン	無料	2,100円	●	●	●
友の会 クラシックプラン	無料	2,625円	*	●	●
メールマガジン	無料		●		

*別途メールマガジンにご登録いただけます。

■ご入会について

チケットサービスあるいはホームページにてお手続き、もしくは友の会事務局まで入会申込書をご請求ください。

■お問合せ・チケットお申込み

お問合せ 東京文化会館友の会 Club Wa-Wa 事務局
電話：03-3828-1696(平日9:00~17:00、土日祝休み)
お申込み 東京文化会館チケットサービス
電話：03-5685-0650(休館日を除く10:00~19:00)

特典 (ベーシックプラン、クラシックプラン共通)

- ① 当館指定公演の**チケット割引販売**
- ② 当館指定公演の**チケット先行販売**
- ③ 当館指定公演に抽選で**会員の方をご招待**
- ④ **館内のレストラン・ギフトショップで5%割引(一部対象外)**
- ⑤ 会館広報誌「音脈・公演情報」を**年4回、ご自宅へ郵送**
- ⑥ **ヤマハ銀座店で5%割引(一部対象外)**
- ⑦ (公財)東京都歴史文化財団の運営する施設の**入館料等の割引**(割引率は施設により異なります)
- ⑧ **アトレ上野の対象店舗での各種サービス**
詳しくはリーフレット「アトレ上野 de お得がいっぱい！」もしくはアトレホームページ<http://www.atre.co.jp/>をご覧ください。

新規特典!

- ⑨ **エキュート上野の対象店舗での各種サービス**
詳しくはリーフレット「エキュート上野 チケ得」もしくはエキュート上野ホームページ<http://www.ecute.jp/ueno/>をご覧ください。
- 最新の友の会特典情報(先行発売・割引情報・公演ご招待等)は、東京文化会館ホームページからご覧いただけます。

カフェ

café HIBIKI

秋の風を感じながら
気楽に楽しめる
オープンカフェゾーンです。



水出しコーヒー用
サイフォン

2012秋の新メニュー
自家製「水出しコーヒー」
本格的プレミアムダッチコーヒー

営業時間 / 11:00~19:00(ラストオーダー18:30)
営業時間等変更の可能性がございますので、
下記へお問合せください。

TEL 03-3821-9151
(レストランフォレスティエユ精養軒)

東京文化会館1階：入口は国立西洋美術館側

ギフトショップ&チケットサービス

東京文化会館ギフトショップ

TEL 03-3828-2223 FAX 03-3828-2224

芸術の秋!ホールでの満ち足りた時間を、
ご自宅やご友人にお持ち帰りください!
ギフトにぴったりの商品も多数取り揃えて
皆様のご利用をお待ちしております。



オルゴール(写真上から)
♪モーツァルト：魔笛～おれは鳥刺し～
♪ヴェルディ：アイダー～嵐旋行進曲～
♪ビゼー：カルメン～闘牛士の歌～ 各1,260円(税込)

東京文化会館チケットサービス

TEL 03-5685-0650

東京文化会館1階正面口入って左

フラワーショップ

CADEAUX

カドー



贈り物(CADEAUX)の玉手箱
エントランスロビーの一角で
色とりどりの季節の花がお出迎え。
おしゃれな雑貨もギフトにぴったり。
大切な方への贈り物や
ご自分へのご褒美にもどうぞ。
お電話・FAXでのご注文も承ります。

TEL&FAX 03-3828-8741

東京文化会館1階正面口入って右

Restaurant Forestier

レストラン フォレスティエユ 精養軒



Luxury Modern

ラグジュアリー・モダン

劇場の余韻に浸る空間



左野精養軒

感謝の140年

TEL 03-3821-9151

(東京文化会館 2階)

<http://www.seiyoken.co.jp>